Canon

PUB. DIJ-0324-000

HDビデオカメラ

iVIS HF21

使用説明書

思い出ライブラリー

旅先での印象的な景色。
一等賞をもらったうれしそうな笑顔。
ドーンと響く夏の夜の大輪。
心をくすぐる瞬間をiVISに収めましょう。

スペシャルシーンを撮る

花火も鮮やかに 72

夏の夜を彩るワンシーン。
夜空に咲く花火をキレイに
表現します。

テープとはココが違う！

メモリーは軽い!スゴい!!

1 買ってすぐに撮れる 40

64GBの内蔵メモリーに、標準画質SPモードで約19時間10分、最高画質MXPモードで約5時間55分撮影可能。買ったその日から、家族の笑顔が残せます。

瞬間を逃さない
プレRECを使う

86

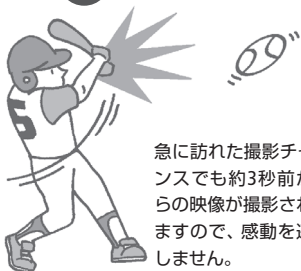
急に訪れた撮影チャンスでも約3秒前からの映像が撮影されますので、感動を逃しません。

海外でも安心
世界の電圧/周波数に対応

252

変換プラグがあれば、どこでも充電可能です。一部の国では、そのままテレビにつないで見ることができます。

顔を検出して撮る
フェイスキャッチ

93

顔のピントや明るさを自動で調整。狙った人物を逃しません。

音楽と一緒に再生する
ビデオスナップ

81

印象的な場面を4秒ごとのシーンで撮影。撮りためて、音楽とともにドラマチックに再生できます。

2 重ね撮りの心配がない

撮影した映像は、メモリーの空いているところに記録されますので、誤って重ね撮りして大切な記録を消してしまう恐れがありません。

3 一覧画面から一発再生

50

見たいシーンを探すとき、テープのように巻き戻し、早送りで頭出しする手間は一切不要。インデックス画面からパッと選んで一発再生です。

4 パソコンで保存や編集

ImageMixer 3では動画、Digital Video Softwareでは静止画のパソコンへの保存や管理などができます。詳しくは各ソフトウェアの説明書をご覧ください。

CONTENTS

もくじ

Chapter 3
写真

CONTENTS

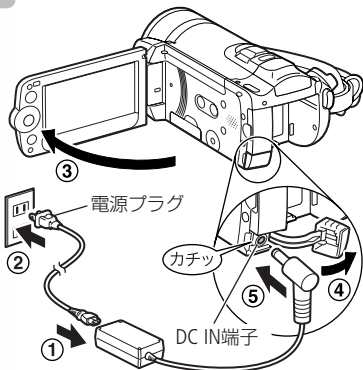
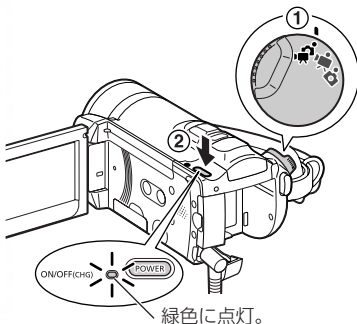
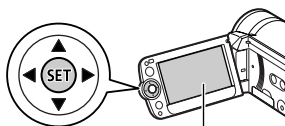
もくじ

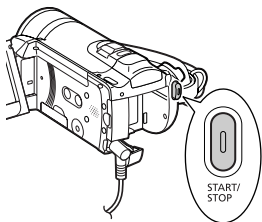
やりたいこと目次

さっそく撮ってみよう

箱から出して、今すぐ撮影してみたい----という方のために一通りの操作を説明します。まずは内蔵メモリーに気楽に撮ってみましょう。

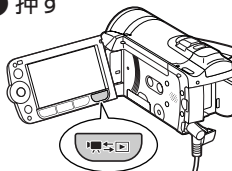
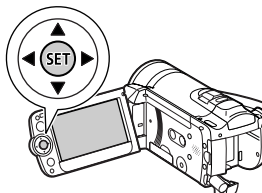
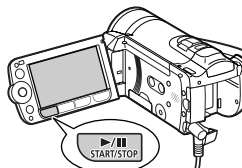
3 時計を合わせる

❶ 上下に押して、年を設定する。
- 左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

❷ 左右に押してOKを選ぶ→ SET を押す。

4 押す ▶ 撮影開始！

- もう一度押すと撮影終了

映像を再生してみよう

電源を切らずにそのまま操作できます。

❶ 押す

❷ 見たいシーンを選ぶ

❸ 押す ▶ 再生開始！

- 再生を終えるときは ■W を押す。

ハイビジョンを楽しもう

本機は高精細なハイビジョン映像を撮影することができます。写真は、説明のためのイメージ写真です。

ハイビジョンは美しい

ハイビジョン画質 1920×1080画素*1

約6倍 全体画素数

約2倍 有効走査線数

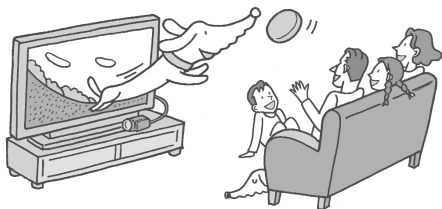
1080本

髪の毛一本までクッキリと再現

標準画質（従来） 720×480画素

480本

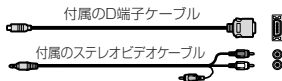
フルHD CMOSセンサーによって、フルハイビジョン（水平1920×垂直1080画素）で映像を記録*1しますので、すみずみまで精細な美しさを再現します。

*1 録画モードがMXPとFXPの場合。他の画質では、水平1440×垂直1080画素で記録します。

ハイビジョンテレビで再生

HDMI™端子のあるハイビジョンテレビで見る　ハイビジョン画質

HDMIケーブル（別売）でつなぐだけ。もっとも美しく、カンタンにハイビジョン映像をお楽しみいただけます。

ハイビジョンテレビで見る　ハイビジョン画質

付属のD端子ケーブルとステレオビデオケーブルでつないでハイビジョン映像を再生できます。

HDMI端子がない
ハイビジョンテレビ

D端子ケーブルで映像、ステレオビデオケーブルで音声が出力されます。

カードスロットのあるテレビやレコーダーで再生する　ハイビジョン画質

SD/SDHCカードスロットのあるAVCHD規格対応*[2]のテレビやレコーダーで、映像を記録したカードをカードスロットに入れて再生できます。詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

*2 AVCHD規格に対応した機器でも、機器によっては正しく再生できないことがあります。その場合は本機で再生してください。

カードスロットのある
ハイビジョンテレビ

この本の読みかた

クイックスタート

すばやく撮影をはじめる ビデオ 写真

液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*2で撮影可能状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

*1 バッテリーの消耗は撮影時の約1/3となります。
*2 撮影可能状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

撮る 見る　撮影ダイヤル

ビデオ　1 簡単に撮る（基本編）

1. スタンバイする

● 液晶画面を閉じる→電源ランプがオレンジ色に点灯してスタンバイ状態になる。

ON/OFF(CHG)　オレンジ色

2. クイックスタートする

● 液晶画面を開く→電源ランプが緑色に点灯して撮影できる状態になる。

ON/OFF(CHG)　緑色

48

すばやく撮影をはじめる

すばやく撮影をはじめる

ご注意
● **スタンバイ中は電源を取りはずさないでください。**

MEMO
● ACCESSランプ点滅中やメニュー表示中はスタンバイ状態になりません。また、カードカバーが開いているときやバッテリー残量が少ないときは、スタンバイ状態にならない場合があります。必ず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。
● スタンバイ後、10分経過すると電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、メニューの「クイックスタート」で選択できます（📖 127）。なお、「パワーセーブ」（📖 127）は、スタンバイしているときは無効となります。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。
● メニューの「クイックスタート」を「切」にすることで、クイックスタート機能を無効にすることもできます。
● スタンバイ中に撮影ダイヤルを切り換えると、切り換えたモードで起動します。

49

探すための見出し

知りたい機能をすばやく探すための見出し。左ページに章タイトル、右ページには機能の名前を載せている。

本文中の表記

📖10（📖 10）	参照ページを示す。
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す。
画面	液晶画面のこと。
カード	SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのこと。
メモリー	「内蔵メモリー」または「カード」のこと。
ImageMixer 3	付属のソフトウェア「PIXELA ImageMixer 3 SE」のこと。

* 画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

ビデオと写真のどちらで使えるかを示すマーク

ビデオ
動画の撮影や再生で使える機能。

写 真
静止画の撮影や再生で使える機能。

ダイヤルの位置やボタンの状態を示すマーク

撮影ダイヤル

撮影ダイヤルの位置。この場合は 🎥 または 📷 の位置に合わせる。ほかに 🎥📷 がある。

撮る 見る

撮る/見るボタンを押すたびに、撮影と再生が切り換わる。この場合は撮影にする。

コラムのマーク

ご注意
守ってほしいこと。

知っておいてほしいこと。

使う前に知っておいてください

かならず「ためし撮り」しましょう

大切な映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラ、カードなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権に注意しましょう

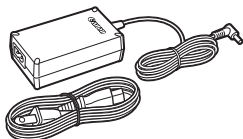
録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面について

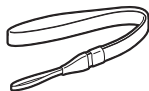
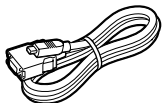
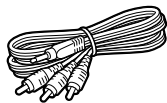
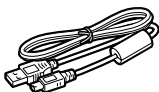
液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

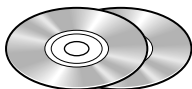
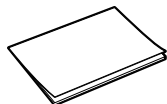
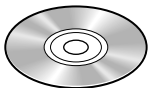
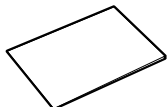
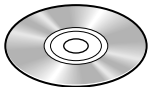
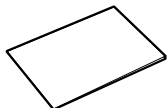
そろっていますか？

本体以外の付属品がそろっているかチェックしましょう。

バッテリーパック BP-809

コンパクトパワーアダプター
CA-570と電源コード

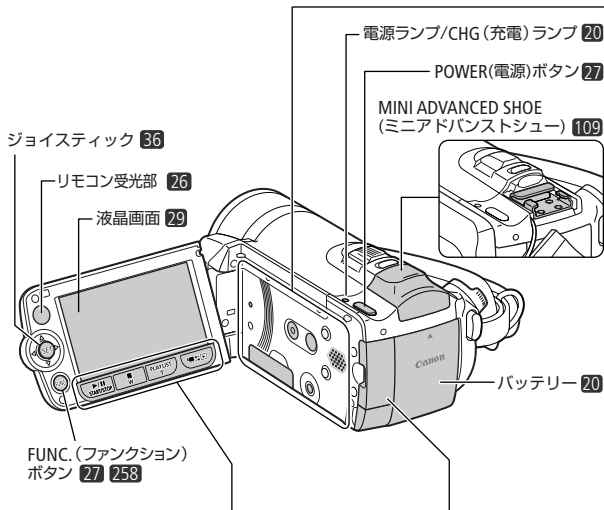
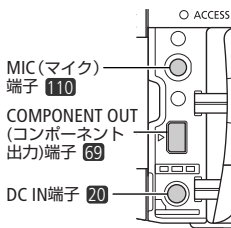
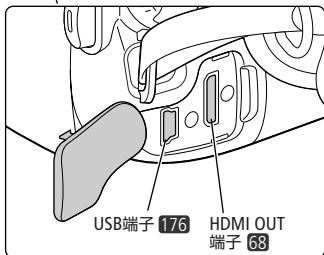
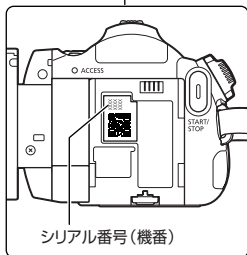
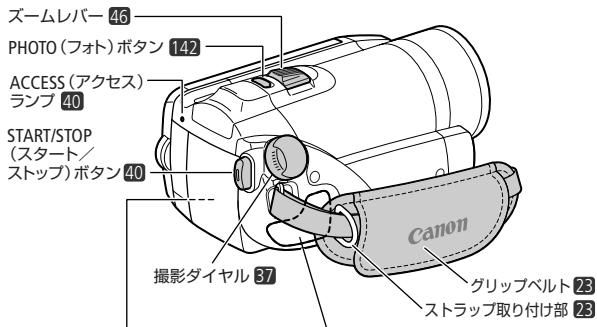
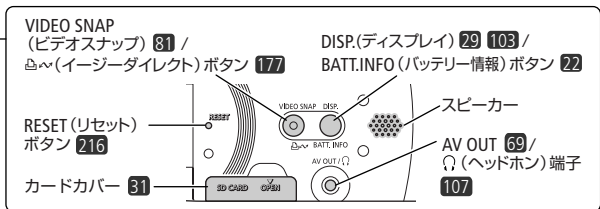
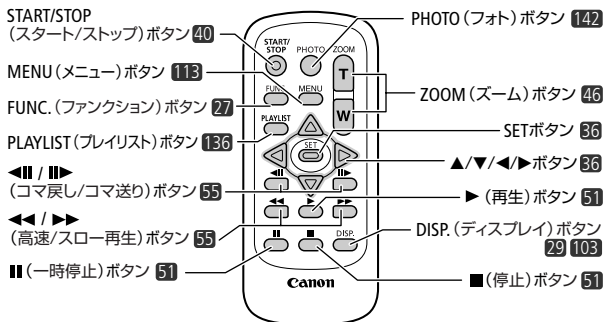
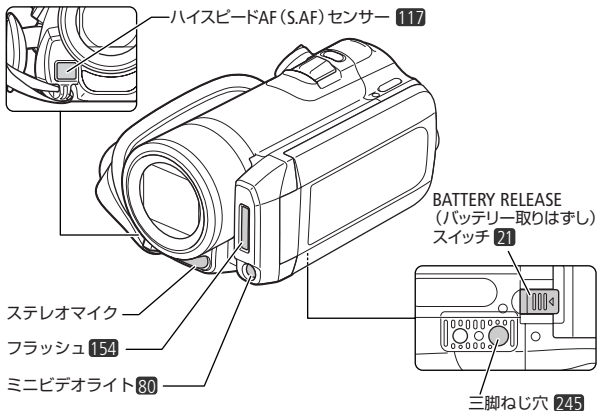
リモコン（ワイヤレス
コントローラー）WL-D88

コイン型リチウム電池
CR2025（リモコン用）

リストストラップ
WS-30

D端子ケーブル
DTC-100/S

ステレオビデオケーブル
STV-250N

USBケーブル IFC-400PCU

iVIS HF21 使用説明書（本書）

PIXELA（ピクセラ） Application（アプリケーション） Disc（ディスク） Disc 1、Disc 2 *1
（動画の保存、管理、編集、再生用）

操作早わかりガイド

DIGITAL VIDEO Solution Disk *1
（静止画の保存、管理、印刷用）

PIXELA ImageMixer 3 SE
インストールガイド

音楽データディスク *2

DIGITAL VIDEO Solution Disk
スタートガイド

*1 説明書がPDFデータとして入っています。
*2 CDプレーヤーでは再生できません。PIXELA Music Transfer UtilityやVideo Toolsでのみ使用できます。詳しくはMusic Transfer Utility・ImageMixer 3 SE取扱説明書（PDF）をご覧ください。

各部のなまえ

本文中に出てくる名称です。 ■ 内の数字は参照ページです。

ズームレバー 46
PHOTO（フォト）ボタン 142
ACCESS（アクセス）
ランプ 40
START/STOP
（スタート／
ストップ）ボタン 40
撮影ダイヤル 37
グリップベルト 23
ストラップ取り付け部 23
Canon

ACCESS
START/
STOP
シリアル番号（機番）

USB端子 176
HDMI OUT
端子 68

ハイスピードAF（S.AF）センサー 117

BATTERY RELEASE（バッテリー取りはずし）スイッチ 21

ステレオマイク

フラッシュ 154

ミニビデオライト 80

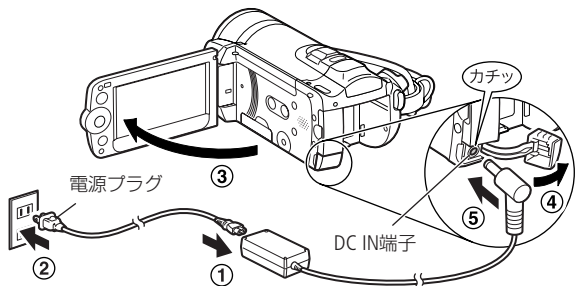
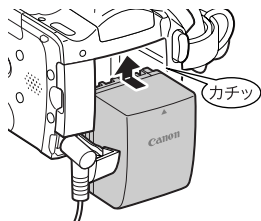
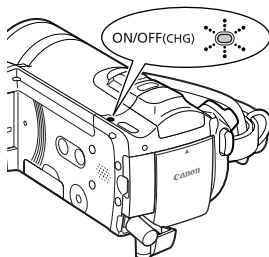
三脚ねじ穴 245

Chapter
1

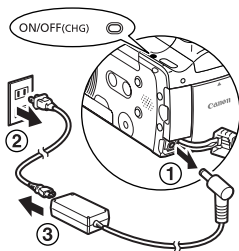
準備する

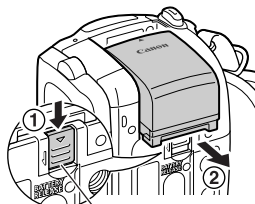
バッテリーを充電する

はじめてお使いになるときは、バッテリーを充電しましょう。

1 コンセントにつなぐ

2 バッテリーを取り付ける

3 電源OFFで充電開始

1秒に1回赤く点滅
他のパターンで点滅しているときは、「故障かな？」（📖 210）をご覧ください。

準備

4 点滅→消灯で充電おわり

バッテリーを取りはずすとき

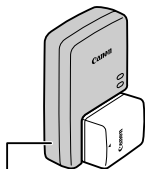
バッテリー取りはずしスイッチを矢印の方向に押して取りはずす。

BATTERY RELEASE
（バッテリー取りはずし）スイッチ

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃を超える場所では充電できません。

- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は269～270ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。

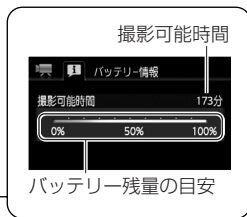
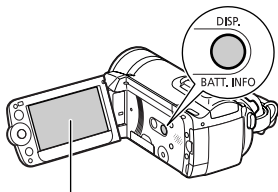
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。
- 付属のバッテリーBP-809の充電時間は約155分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャーCG-800を使うと約105分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、245ページをご覧ください。

バッテリーチャージャー
CG-800（別売）

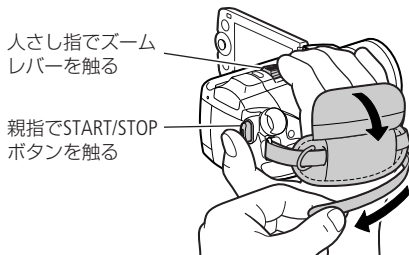
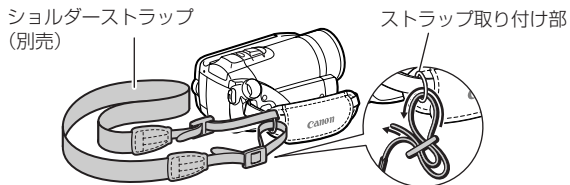
準備

バッテリーの残量を確認するには

電源OFFのときにBATT. INFOボタンを押すと、バッテリーの残量と撮影可能時間が5秒間表示されます。バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

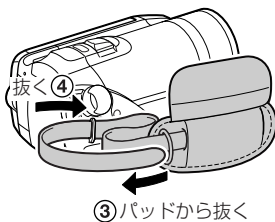
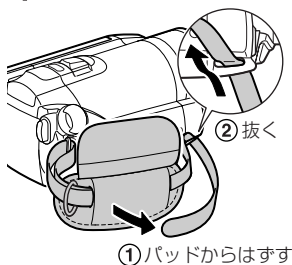
撮影可能時間

バッテリー残量の目安

付属品を準備する

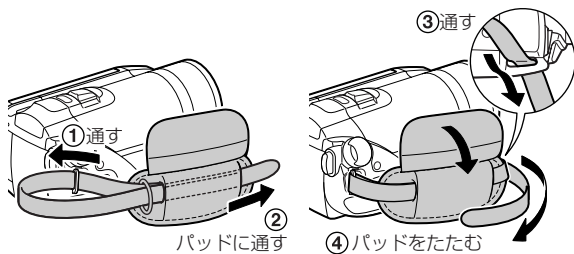
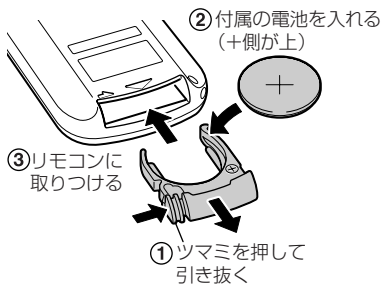
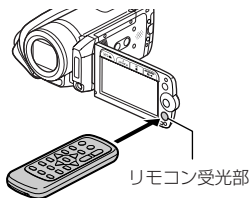
グリップベルトやストラップの調整、リモコンの準備をしましょう。

■ グリップベルトを調整する

■ ショルダーストラップ（別売）を取り付ける

■ リストストラップを取り付ける

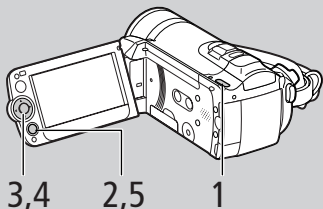
1 グリップベルトをはずす

2 リストストラップを取り付ける

グリップベルトのストラップ取り付け部に取り付けることもできる。

ビデオカメラを低い位置にして撮るときに便利

グリップベルトを戻すときは

■ リモコンを準備する

使うときは受光部に向けて

- リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
- リモコンで操作できないときは、メニューの「リモコンセンサー」を「入」にしてください（ 126）。または電池を交換してください。

時計を合わせる

時刻は2カ所セットできます。海外旅行先の日時を設定しておくと、現地の日時で記録できます（□ 254）。

* はじめて使うときのみ、でも操作できます。

1 ONにする

はじめて使うとき

自動的に操作4の画面が表示されるので、❷～❸の操作をして終了。

FUNC.

2 押す

3 地域を選ぶ

❶ (メニュー)→ を選ぶ。

❷ 上下に押して「エリア/サマータイム」を選ぶ→ SET を押す。

❸「トウキョウ」を確認する→ SET を押す。

- 海外に住んでいるときは、左右に押して居住地域を選ぶ。

付属品を準備する／時計を合わせる

4 日時を設定する

❶ 上下に押して「日付/時刻」を選ぶ→ (SET) を押す。

❷ 上下に押して、年を設定する。

日付/時刻
2009. 1. 1 PM 1:00 OK
SET

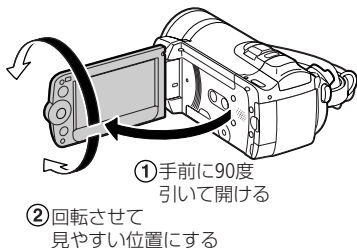
- ジョイスティックを左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

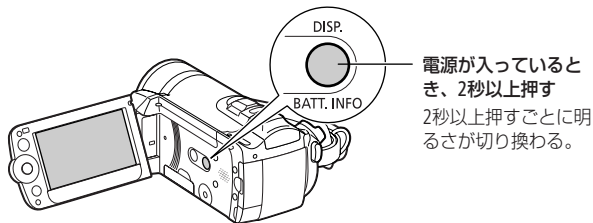
❸ 左右に押して **OK** を選ぶ→ (SET) を押す。

5 押す

● 本機を約3ヶ月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（□ 248）。

液晶画面を調整する

■ 位置を調節する

■ 画面の明るさを調節する

画面の明るさを2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。

MEMO

- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- メニューの「バックライト低輝度」で、画面の明るさをより暗くすることができます（□ 124）。

カードを入れる

動画や静止画をSDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードに記録できます。ただし、カードによっては動画を記録できないことがあります。次の表で確認してください。

SDスピードクラス4、6のカードの使用をおすすめします。

	容量	SDスピードクラス	動画記録
SDメモリーカード	64MB以下	—	—
	128MB以上	—	○[*1*2]
		CLASS 2	○[*1]
		CLASS 4 CLASS 6	○
SDHCメモリーカード	2GB超	CLASS 2	○[*1]
		CLASS 4 CLASS 6	○

*1 FUNC.メニューの録画モードを「XP+」「SP」「LP」にしている場合のみ使用できます。

*2 カードによっては記録できないことがあります。

次のメーカー製のSDメモリーカードとSDHCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2009年4月現在）。

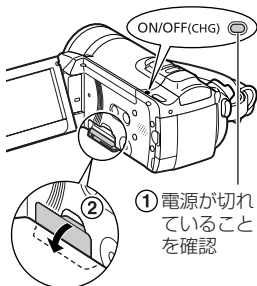
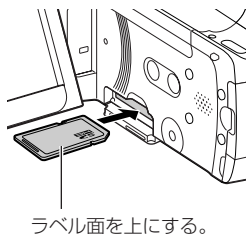
- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

SDスピードクラスとは？

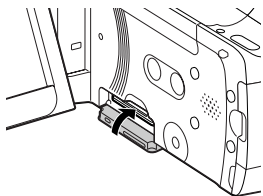
SDメモリーカードやSDHCメモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。メモリーカードを購入するときは、スピードクラスのマークを確認してください。

■ カードを入れる

カードをはじめて使用するときは、まず初期化してください（ 📖 34）。

1 カバーを開ける

2 カードをまっすぐ入れる

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

3 カバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

● カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作2のような正しい向きで入れてください。

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できる。

記録メモリーを準備する

動画や静止画を内蔵メモリーまたはカードに記録できます。

■ 記録メモリーを選ぶ

動画や静止画の記録先を選択します。

1 押す

2 動画または静止画の記録先を選ぶ

❶ (メニュー)→ または を選ぶ。

❷ 上下に押して「動画記録」または「静止画記録」を選ぶ→ を押す。

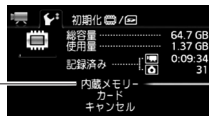
* 現在設定している動画の録画モードや静止画の画質/サイズをもとに算出。

❸ 上下に押して「内蔵メモリー」または「カード」を選ぶ→ を押す。

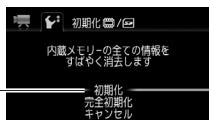
3 押す

■ 初期化する

カードをはじめて使用するときや、内蔵メモリー*やカードに記録した動画/静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

* ご購入時、すぐに撮影できるように内蔵メモリーは初期化されています。また、ビデオスナップなどに使う音楽が入っています。

3 初期化を選ぶ

❶「初期化」または「完全初期化」を選ぶ → (SET) を押す。

❷「はい」を選ぶ→ (SET) を押す。

完全初期化を中止するとき

(SET)（中止）を押す。メモリーはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

❸ (SET)（OK）を押す。

4 押す

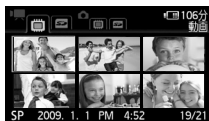
- 初期化すると、メニューでプロテクト設定をした静止画を含め、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンやDVDなどにバックアップ（📖 190、201）してから初期化してください。
- ビデオスナップなどに使う音楽も消えますが、パソコンを使って付属のCD「音楽データディスク」から元に戻せます。詳しくはImageMixer 3のMusic Transfer Utility取扱説明書をご覧ください。
- 初期化するときはコンパクトパワーアダプターをつなぎ、初期化中は取りはずさないでください。

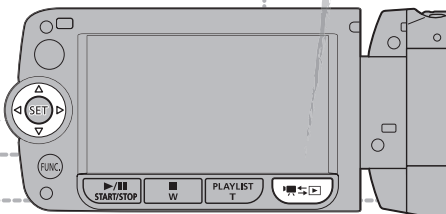
基本の操作をおぼえよう

■ ビデオや写真の撮影・再生のしかた

撮影するのか、再生するのかを選ぶ

撮る／見るボタン

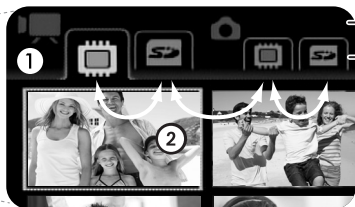
撮影時の画面

再生時の画面
（インデックス画面）

■ 再生画面の一発表示
電源OFFのときに押すだけで
再生画面に！

動画を再生するのか、静止画を再生するのかを選ぶ 50

ジョイスティック

① 上下に押して移動。
② 左右に押して選ぶ。

再生時の画面（インデックス画面）

動画を撮るのか、静止画を撮るのかを選ぶ
撮影
ダイヤル
デュアルショット 42
細かい設定はカメラまかせで、動画と静止画を撮影可能。
■ 動画を撮る
→START/STOPボタン
■ 静止画を撮る
→PHOTOボタン
動画モード 42
静止画モード 42
シャッタースピードやピントなど細かな設定が可能。
PHOTOボタン
START/STOP
START/STOPボタン
①
②
マークの意味
動画
静止画
内蔵メモリー
カード
拡大画面

■ 操作案内を使う

撮影時のピントや露出などの細かい調整や、再生時の動画の早送りや静止画の印刷設定などの操作を、操作案内で行うことができます。

* 動画再生時の使いかたは、54ページをご覧ください。

1 上に押す

● 操作案内が出る。

2 上下に押して、項目を選び、(SET)を押す。

● 選んだ項目が表示され、「ON」と「OFF」または「M」(手動)と「A」(自動)が切り換わる。

以降の操作については、設定する機能によって異なります。それぞれの機能のページをご覧ください。

● 操作2の後にジョイスティックを下に押すと表示が消えます。ジョイスティックを上下に押すと操作案内が再び表示されます。
● 操作案内を表示中に2秒間操作しないと、選択していた項目のみの表示に切り換わります。

Chapter
2
ビデオ

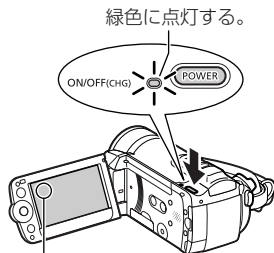
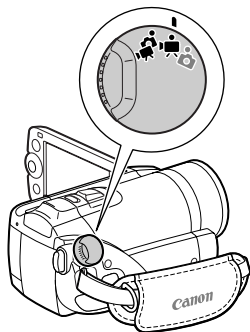
Recording and Playing Back Movies

ビデオを撮る

ビデオ
写真

動画は内蔵メモリーまたはカードに記録できます。

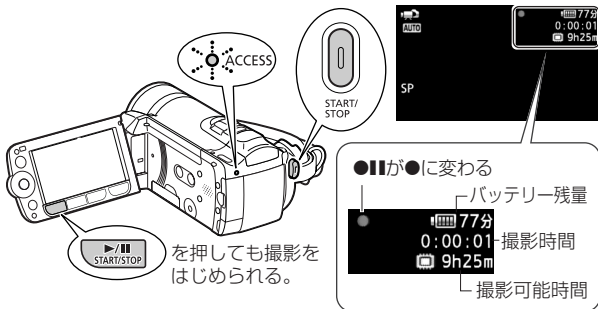
1 またはにする

2 ONにする

またはが表示される

- カードに記録するとき(33)。

3 押す ▶ 撮影開始！

ビデオ

1 簡単に撮る（基本編）

撮影を終えるとき

もう一度、START/STOPボタンを押す。

電源を切るとき

1. ACCESSランプが消えていることを確認する。
2. POWERボタンを押す。
3. 液晶画面を垂直にしてから閉じる。

- ACCESSランプが点滅している間は、つぎのことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - 撮影ダイヤルを切り換えない。
  - ボタンを押さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください（📖 190）。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

- バッテリーを使っているときに、約5分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます（📖 127）。このときは電源を入れ直してください。
- 液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節してください（📖 124）。

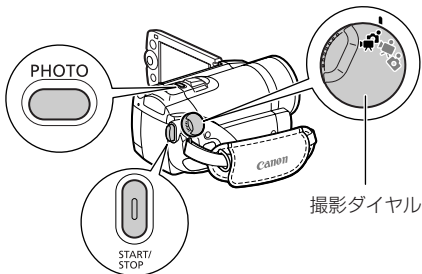
デュアルショットと動画モード、静止画モード

動画や静止画を簡単に撮影するためのデュアルショットと、いろいろな調整ができる動画モード、静止画モードを切り換えられます。

デュアルショット

撮影ダイヤルをにします。START/STOPボタンを押すと動画撮影、PHOTOボタンを押すと静止画撮影ができます。露出や色合い、ピントなどは自動で調整されますので、難しい設定をせずに手軽に動画や静止画を撮影できます。ズーム機能やクイックスタート、ビデオスナップは使えますが、それ以外の機能を設定することはできません。

動画モード、静止画モード

撮影シーンに合わせて露出やピントなどを調整したり、メニューから設定項目を変更したいときなどは、撮影ダイヤルを（動画撮影）または（静止画撮影）にします。

デュアルショットに切り換えたとき

メニューの設定内容はご購入時の設定に戻ります。ただし以下のメニューのみ、動画モード、静止画モードで設定した内容がそのまま保持されます。

FUNC.メニューの設定内容

- 「録画モード」（動画記録時）、画質/サイズ（静止画記録時）

メニューの設定内容

- 「動画記録」、「静止画記録」、「オートスローシャッター」、「バックライト低輝度」
- （システム設定1）、（システム設定2）、（言語・日時設定）の全項目

画質を選ぶ ビデオ 写真

録画モードにはMXP、FXP、XP+、SP、LPの5種類があります。高画質で撮影したいときはMXPまたはFXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

1 押す

2 録画モードを選ぶ

❶ 上下に押して**SP**を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

標準モード 7 Mbps
MXP FXP XP+ SP LP

3 押す

録画時間の目安

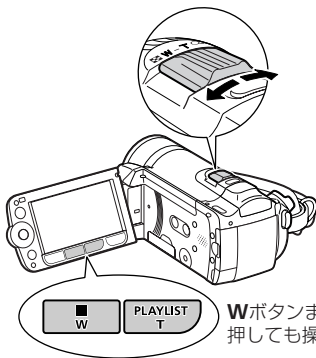
録画モード	MXP	FXP	XP+	SP	LP
4GBカード	20分	30分	40分	1時間10分	1時間30分
8GBカード	40分	1時間	1時間25分	2時間20分	3時間
16GBカード	1時間25分	2時間5分	2時間50分	4時間45分	6時間5分
32GBカード	2時間55分	4時間10分	5時間45分	9時間35分	12時間15分
内蔵メモリー（64GB）	5時間55分	8時間20分	11時間30分	19時間10分	24時間30分

* 動画の連続撮影が可能な時間は約13時間です。

- 別売のDVDライターDW-100を使ってMXPモードの動画をディスクに保存することはできません。付属のソフトウェアImageMixer 3を使って保存してください。
- 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため、録画時間は撮影するシーンによって変化します。
- デュアルショットに切り換えても設定した録画モードは変わりません。
- ご購入時、内蔵メモリーには約170MBの音楽データが保存されています。

拡大して撮る ビデオ 写真

ズームレバーをT側に押すと15倍まで拡大して撮影できます(光学ズーム)。W側に押すと、元の大きさに戻ります。デジタルズーム*を使うと、300倍まで拡大することができます(📖 117)。

* デジタルズームは (デュアルショットモード)と (静止画モード)では使えません

W側(広角)　T側(望遠)

- ズーム撮影をするときは被写体から1m以上離れてください。
- ズームレバーをW側に押して最も広角にすると約1cmまで近づいて撮影できます。
- ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします(可変速)。メニューでズームスピードを一定にすることもできます(116)。スピードは1(遅い)～3(速い)から選びます。
- メニューの「ズームスピード」を「可変速」に設定した場合、リモコンや液晶画面のズームボタンでズーム操作するとズームスピード3(速い)になります。
- 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります(ただし、「ズームスピード」を「可変速」に設定したときのみ)。また撮影一時停止中にプレREC(86)を「ON」にしていると遅くなります。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V1に入れて撮影する場合の制限事項については268ページをご覧ください。

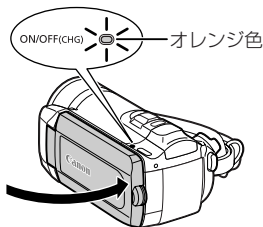
すばやく撮影をはじめる ビデオ 写真

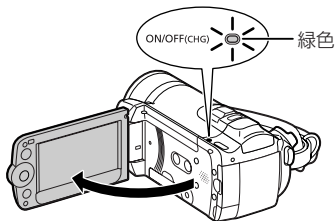
液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*2で撮影可能状態に戻りますので、大切なシーンを逃すことはありません。

*1 バッテリーの消耗は撮影時の約1/3となります。
*2 撮影可能状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

撮る 見る 撮影ダイヤル

1. スタンバイする

- 液晶画面を閉じる→電源ランプがオレンジ色に点灯してスタンバイ状態になる。

2. クイックスタートする

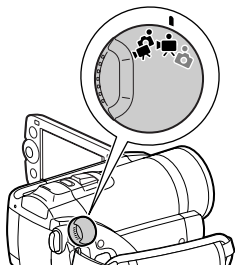
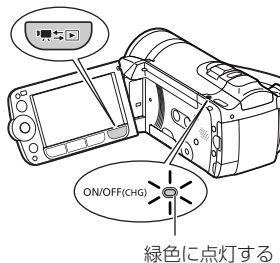
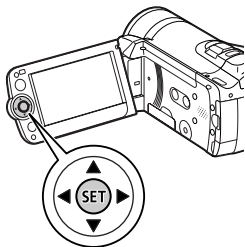
- 液晶画面を開く→電源ランプが緑色に点灯して撮影できる状態になる。

- **スタンバイ中は電源を取りはずさないでください。**

- ACCESSランプ点滅中やメニュー表示中はスタンバイ状態になりません。また、カードカバーが開いているときやバッテリー残量が少ないときは、スタンバイ状態にならない場合があります。必ず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。
- スタンバイ後、10分経過すると電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、メニューの「クイックスタート」で選択できます（📖 127）。なお、「パワーセーブ」（📖 127）は、スタンバイしているときは無効となります。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。
- メニューの「クイックスタート」を「切」にすることで、クイックスタート機能を無効にすることもできます。
- スタンバイ中に撮影ダイヤルを切り換えると、切り換えたモードで起動します。

ビデオを見る

撮った動画を液晶画面で見ます。

1 または にする

2 押す

3 見たいシーンを選ぶ

4 押す ▶ 再生開始！

を押しても再生を始められる。

- ►/II ボタンをもう一度押すと、再生一時停止となる。
- 選んだシーンの再生が終わると、つぎのシーンが再生される。
- 再生を終えるときは ■ ボタンを押す。

音の大きさを変える

1. ジョイスティックを上に押す。
2. 上下に押して 🔊 を選ぶ。
3. 左右に押して調整する。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - 撮影ダイヤルを切り換えない。
  - 🎥⇆▶ ボタンを押さない。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。

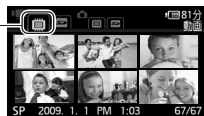
■ インデックス画面を切り換える

撮る 見る

表示するメモリーを切り換える

インデックス画面で内蔵メモリーとカードの動画、静止画を切り換えられます。

1 上に押す

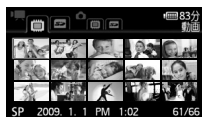
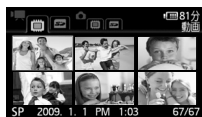
- オレンジ色になる。

2 左右に押してメモリーを切り換える

- 選んだメモリーのシーンがインデックス画面に出る。

3 下に押す

- 1つのシーンが選択される。

表示するシーン数や静止画枚数を切り換える

インデックス画面に一度に表示するシーン数を切り換えられます。ズームレバーをW側に押すと15シーンまたは15枚表示され、T側に押すと6シーンまたは6枚表示されます。

15シーン/枚

6シーン/枚

早送りや早戻しなどをする

早送りや早戻し、スロー再生、コマ送り、スキップ再生などを使って再生できます。

撮る 見る

1 動画再生中 上に押す

- 操作案内が出る。

2 項目を選ぶ

左右の機能を使うとき

左右に押す。

真中の機能を使うとき

SET を押す。

ビデオ

2 簡単に見る（基本編）

機能	操作		説明
	本体	リモコン	
早送り*1	再生中に	▶▶	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。*2
早戻し*1	再生中に	◀◀	◀◀	
スロー再生*1	一時停止中に	❙▶	▶▶	押すたびに再生速度が約1/8倍→約1/4倍に切り換わる。*2
スロー逆再生*1,3	一時停止中に	◀❙	◀◀	
コマ送り	一時停止中に	—	❙❙▶	押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し*4	一時停止中に	—	◀❙❙	押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶❙	▶▶❙*5	次のシーンの先頭から再生。
	再生中に	❙◀◀	❙◀◀*5	現在のシーンの先頭から再生。
	再生中に2回押す	❙◀◀	❙◀◀*5	前のシーンの先頭から再生。

*1 操作中、画面が乱れることがあります。
*2 画面に出る倍速表示は目安です。
*3 連続したコマ戻しのように再生されます。
*4 コマの間隔(0.5秒)はコマ送りの場合よりも長くなります。
*5 リモコンで操作案内を操作して、機能を選びます。

- 操作中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶/❙❙ボタンを押すとふつうの再生に戻り、スロー再生／スロー逆再生中に押すと一時停止に戻ります。

見たいシーンを選ぶ ビデオ 写真

インデックス画面やカレンダー、撮影した日付からお好みのシーンを選びます。また顔が検出されたシーンを集めてインデックス画面から選ぶこともできます。

撮る 見る

インデックス画面ごとに選ぶ

1 シーンを選ぶインデックス画面を出す

- プレイリストのときはPLAYLISTボタンを、ビデオスナップのときはVIDEO SNAPボタンを、ビデオスナップのプレイリストのときは両方のボタンを押す。

2 下に押す

- スクロールバーが出る。

3 左右に押してインデックス画面を選ぶ

- 上に押すと、1つのシーンの上に枠が出る。

カレンダー表示から選ぶ

1 ビデオスナップのシーンを選ぶとき 押す

2 押す

3 カレンダーを選ぶ

❶ 左右に押して (シーン検索)を選ぶ → SET を押す。

❷ 上下に押して「カレンダー」を選ぶ→ SET を押す。

4 撮影した日付を選ぶ

❶ 上下に押して枠を年、月に合わせ、左右に押して数字を選ぶ。

❷ 上下に押して枠を日に合わせ、上下左右に押して数字を選ぶ。

- シーンのある日は白で表示される。

中止するとき

FUNC.ボタンを押す。

5 SET を押す

- 選んだ日付の最初のシーンがインデックス画面に出る。

MEMO ● メニューの「カレンダー指定」で、カレンダー表示の週の始めを「土曜」、「日曜」、「月曜」から選べます（□ 129）。

撮影した日付から選ぶ

1 ビデオスナップのシーンを選ぶとき 押す

2 押す

3 日付選択を選ぶ

❶ 左右に押して (シーン検索)を選ぶ → (SET) を押す。

❷「日付選択」を選ぶ→ (SET) を押す。

4 撮影した日付を選ぶ

左右に押して枠を年、月、日に合わせ、上下に押して年、月、日を選ぶ。

中止するとき

FUNC.ボタンを押す。

5 (SET) を押す

- 選んだ日付の最初のシーンがインデックス画面に出る。

顔が検出されたシーンから選ぶ

フェイスキャッチ機能(📖 93)を使って撮ったシーンのうち、顔が検出されたシーンのみをインデックス画面に表示できます。ビデオスナップのインデックス画面では、この機能は使えません。

1 押す

2 顔ジャンプを選ぶ

❶ 左右に押して 🔍(シーン検索)を選ぶ → SET を押す。

❷ 上下に押して「顔ジャンプ」を選ぶ→ SET を押す。

3 シーンを選ぶ

中止するとき

FUNC.ボタンを押す。

お好みのコマから再生する

1シーン内のコマの一覧からお好みのコマを選んで、選んだコマから再生できます。コマの一覧は、一定の時間ごとのコマを表示するタイムラインと、顔が検出されたコマを時間順に表示する顔タイムラインとがあります。

撮る 見る

■ 一定の時間ごとのコマ一覧から再生する（タイムライン）

1 押す

- タイムライン画面が出る。

2 左右に押してコマを選ぶ

他のシーンを見るとき

上下に押して現在のシーンを選び、左右に押す。

次／前の5つのコマを表示するとき

上下に押してコマ位置バーを選び、左右に押す。

コマの間隔を変えるとき

FUNC.ボタンを押す→左右に押して間隔を変える→ (SET) を押す。

インデックス画面に戻るとき

DISP.ボタンを押す。

3 押す

- 再生が始まる。

■ 人物ごとのコマ一覧から再生する(顔タイムライン)

1 顔ジャンプの画面でシーンを選ぶ

59ページの操作1～3を行う。

2 押す

- 顔タイムライン画面が出る。

3 左右に押してコマを選ぶ

他のシーンを見るとき

上下に押して現在のシーンを選び、左右に押す。

次／前の5つのコマを表示するとき

上下に押してコマ位置バーを選び、左右に押す。

顔ジャンプ画面に戻るとき

DISP.ボタンを押す。

4 押す

- 再生が始まる。

- 顔タイムラインでは、1シーンに対して最大100コマまで表示できます。

シーンや写真をまとめて選ぶ ビデオ 写真

内蔵メモリーからカードにコピーしたり、シーンや静止画を消去したりするときなどに、複数のシーンや静止画をあらかじめ選んでおくことで、まとめて操作できます。

撮る 見る

1 ビデオスナップのシーンを選ぶとき 押す

2 押す

- 静止画の場合は、インデックス画面に切り換える。

3 シーンまたは静止画を選択する

❶ 左右に押して☑（選択）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「個別設定」を選ぶ→ SET を押す。

❸ シーンまたは静止画を選ぶ→ SET を押す。

- 選んだシーンには ☑ が付く。

❹ ❸の操作を繰り返して、選択したいシーンまたは静止画すべてに ☑ を付ける。

選択を解除するとき

❸でもう一度 SET を押す。

選択をすべて解除するとき

❶ 操作3の❷で「全解除」を押す→ SET を押す。

❷ 「はい」を押す→ SET を押す。

❸ SET (OK)を押す。

4 2回押す

- 選択の設定は、電源を切ったり 🎥⇆▶ ボタンを押したりすると解除されます。
- プレイリストのシーンは選択できません。
- シーンや静止画は100シーン/枚まで選べます。

シーンを消す

ビデオ
写真

1つのシーン、あらかじめ選んだシーン、撮影したある日の全シーン、または記録されたすべてのシーンをまとめて消すことができます。
プレイリスト内のシーンを消す場合は、136ページをご覧ください。

撮る 見る

1 ビデオスナップのシーンを消すとき 押す

2 シーンを選ぶ

- 撮影したある日のすべてのシーンを消す場合は、その日の動画の内の1つを選ぶ。
- あらかじめ選んだシーンを消す場合は、「選択」で選ぶ（📖63）。

3 押す

4 シーンを消す

❶ 左右に押して 🗑（消去）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して 「全シーン」、「この日の全シーン」、「1シーン」または「選択したシーン」を選ぶ → SET を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET（中止）を押す。「1シーン」以外を選んだときは操作を中止できる。一部のシーンは消去される。

❹ SET (OK)を押す。

5 押す

- **一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください(📖 190)。
- シーン消去中、ACCESSランプが点灯しているときは、電源を切ったり、撮影ダイヤルを切り換えたり、カードカバーを開けたりしないでください。

- 消したシーンがプレイリストに追加されている場合は、プレイリスト上のシーンも消去されます。
- メモリーに記録されているすべてのシーンを消して容量を元に戻す場合は、初期化します(📖 34)。
- 他機で記録や編集をしたシーンは消去できないことがあります。

テレビで見る ビデオ 写真

テレビで再生すると、より大きな画面で鑑賞できます。ハイビジョンテレビにつないで美しい映像をお楽しみください。

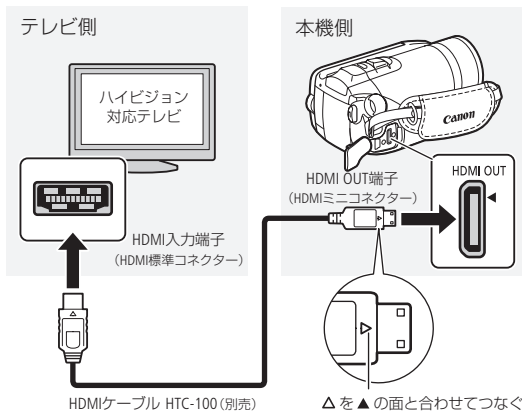
1 テレビの端子をチェックし、接続方法を決める

2 本機とテレビの電源を切る

3 ケーブルを使ってテレビと接続する

4 本機とテレビの電源を入れる
- テレビ側で入力端子を切り換える

5 再生する
動画を見るとき（□ 50）／静止画を見るとき（□ 147）

ハイビジョン画質で見る
HDMI端子に接続する

（HDMI OUT端子）に接続するときの注意

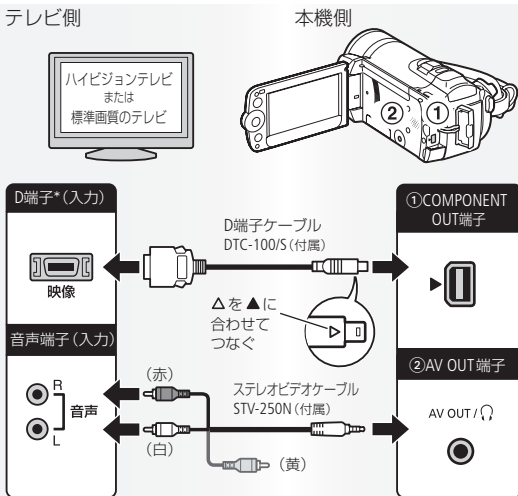
- この端子は出力専用です。他機の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- この端子で接続しているときは、他の端子から映像は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、B またはCの方法で接続してください。

HDMIとは？

1本のケーブルで映像と音声を高品位なデジタル信号のままで送受信できる規格です。本機のHDMI OUT端子では、接続するテレビの解像度に自動的に変換して映像を出力します（□ 131）。

ハイビジョン画質／標準画質で見る

D端子と音声端子に接続する

つなぐ

*ハイビジョン画質で見るときはD3端子／D4端子／D5端子につなぎます。

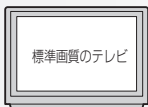
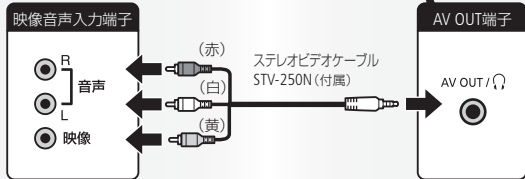
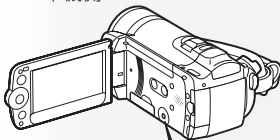
設定する

1 テレビのD端子に合わせてメニューの「コンポーネント出力」（□124）を設定する。ハイビジョン画質で見るときは「1080i」に、標準画質で見るときは「480i」に設定する。

2 メニューの「AV/ヘッドホン」（□123）を「AV」に設定する。

標準画質で見る

映像／音声端子に接続する

つなぐ

設定する

1 ワイド（16:9）モードのない標準画質のテレビ（4:3）につなぐときは、メニューの「テレビタイプ」（□ 125）を 「ノーマルテレビ」に設定する。

2 メニューの「AV/ヘッドホン」（□123）を「AV」に設定する。

- メニューの「x.v.Color」を「入」にして撮影した動画を、x.v.Color対応のテレビで見る場合は、テレビ側の設定が必要になる場合があります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- テレビで見るときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- AV OUT端子にステレオビデオケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- 接続方法 C でつなぐ場合、テレビがビデオID-1方式に対応していると、自動的にワイド画面（16：9）に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側で切り換えてください。

場面に合わせて撮る ビデオ 写真

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

1 押す

2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下に押して**P** を選ぶ。

❷ 左右に押して を選ぶ→ SET を押す。

❸ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

「場面に合わせて撮るとき」に選べる項目

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

スポーツ

動きの速い被写体を撮る。

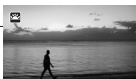
スノー

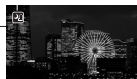
照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。

夜景

夜景をきれいに撮る。

ローライト

暗い場所で被写体を明るく撮る。

スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。

打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。

水中

水中で自然な色合いで撮る。

水上

ダイビングのときに水上で撮る。

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームレバーをT側にすると、背景がより効果的にぼけます。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください（📖 91）。

打上げ花火について

- 手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
- 静止画撮影中は、シャッタースピードが遅くなるため、三脚などで固定してください。

水中、水上について

- 本機を別売のウォータープルーフケースWP-V1に入れて撮影するときに使用します。
- 水中モードは、状況が様々に変化する水中*専用の撮影モードです。水上で撮影するときや照明器具を使って撮影するときは、水上モードの使用をおすすめします。
- PHOTOボタンを押しながら電源を入れると、ケースに入れたまま水中モードと水上モードを切り換えられます。
- 本機が高温になると画面に が出ることがあります。そのときは本機の電源を切ってケースから出し、涼しい場所で冷ましてください。さらに高温になると、電源が自動的に切れることがあります。
- 水中モードに設定して水中で撮影するとき、画面の映像が赤味がかることがありますが、記録される映像の色合いには影響しません。
- ウォータープルーフケースにワイドコンバーターなど市販のアクセサリーを取り付けると、アクセサリー内部にピントが合うことがあります。その場合は、ズームレバーをT側に押すと、被写体にピントを合わせられます。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V1に入れて撮影する場合の制限事項については268ページをご覧ください。

* 水中は、天気や水の状態、水深などによって状況が様々に変化する特殊な環境です。また、光の赤色成分が水に吸収されるため、青と緑が強く見えます。

動きの速いものを撮る 背景をぼかして撮る

ビデオ 写真

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れのような流動感を表現できます。しぼり数値が小さい（開く）と背景をぼかしたポートレートが、大きい（閉じる）と風景の近くから遠くまでボケを少なくして撮影できます。

1 押す

2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下に押して **P** を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

P（プログラムAE）	：シャッタースピードとしぼりが自動で設定される。
Tv（シャッター優先AE）	：シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動で設定される。
Av（絞り優先AE）	：しぼりを自分で選ぶ。シャッタースピードは自動で設定される。

TvまたはAvを選んだとき

❶ SET を押す。

❷ 左右に押して数値を選ぶ。

❸ SET を押す。

3 押す

シャッタースピードを選ぶときの目安

例 画面に「Tv30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

（動画のとき）	（静止画のとき）	こんなときに使います
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500秒	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	－	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

動画記録時、メニューの「フレームレート」を「PF24」（□ 115）に設定しているときのシャッタースピードは、1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒です。

Tv のとき

- 暗いところでスローシャッターを使うと明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 高速シャッターでは、映像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯下で動画を撮影するとき、画面のちらつきがとれない場合は、Tv を選んでから1/100秒を選んでください。

Av のとき

- しぼり数値
  1.8、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0
- 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。

- AEはAutoExposure（オートエクスポージャー）（自動露出）、TvはTime value（タイム バリュー）（時間量）、AvはAperture value（アパーチャー バリュー）（開口量）の略です。
- 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。点滅しなくなるまで、シャッタースピードを調整してください。
- 撮影モードが**Tv**または**Av**のときに露出を手動で調整すると、シャッタースピードやしぼりは調整できません。

映画のように撮る ビデオ 写真

シネマエフェクトを使用すると映画のような雰囲気のある映像を撮影できます。

1 押す

2 シネマモードを選ぶ

❶ 上下に押して P を選ぶ。

❷ 左右に押して を選ぶ。

3 フレームレートをPF24にする

❶ (メニュー)→ →「フレームレート」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「PF24」を選ぶ→ SET を押す。

4 押す

暗いところで撮る ビデオ 写真

暗いところで撮影する場合、ミニビデオライトを使って被写体を明るく撮影できます。

撮る 見る　撮影ダイヤル

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 ミニビデオライトを選ぶ

「ミニビデオライト」を選ぶ→ SET を押す。

- 点灯中は「ON」が出る。

消灯するとき

もう一度 SET を押す。

MEMO

- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたときは、影が映るため、ミニビデオライトは使わないことをおすすめします。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V1に入れて撮影する場合の制限事項については268ページをご覧ください。

音楽と映像を組み合わせる

ビデオスナップモードで撮影すると、映像は4秒間だけ記録されます。ビデオスナップ映像を取りためて音楽といっしょに再生することができます。音楽は数種類の中から選ぶことができます。ビデオスナップモードで撮影していない映像でも、あとからビデオスナップを作ることができます。

■ 撮影する

1 押す

- ボタンが点灯する。
- 画面に青い枠が出る。

2 押す

- 約4秒間撮影し、自動的に撮影一時停止になる。
- 撮影中は青い枠が動き、記録後、シャッターを切るように画面が一度黒くなる。
- ビデオスナップのシーンにはインデックス画面で ♪ が付きます。

■ 再生中の映像からビデオスナップを作る

1 シーンを選ぶ

- ビデオスナップを作成するシーンを選ぶ。

2 押す

- 再生が始まる。

3 押す

- 4秒間がコピーされて、ビデオスナップになる。その後再生一時停止になる。

- ビデオスナップ作成中は青い枠が動き、ビデオスナップを作った後はシャッターを切るように画面が一度黒くなる。

- 再生中のみビデオスナップを作成できます。再生一時停止中は作成できません。
- オリジナルのシーンと同じメモリーに保存されます。

ビデオスナップを作成できない場合

- 再生中のシーンがビデオスナップのとき。
- 約1秒未満のシーンのとき。
- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。
- 他機で撮影したシーンのとき。
- メモリーの空き容量が少ないとき。

- シーンの終わりから約1秒以内の位置で作成すると、次のシーンの先頭からのビデオスナップになります。
- 再生中のシーンから作ったビデオスナップは、再生時、シーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

■ 音楽と一緒に再生する

撮りためたビデオスナップの映像を音楽と一緒に再生*します。

* このとき、映像に記録されている音声は再生されません。

撮る 見る

1 押す

- ボタンが点灯する。
- ビデオスナップのシーンだけのインデックス画面が出る。

2 押す

3 選曲する

❶ 左右に押して ♫（選曲）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して曲を選ぶ。

- SET を押すと試聴できる。もう一度押すと停止する。

- 「切」を選ぶと、撮影時の音声が再生される。

曲を消すとき

❶ ❷の後に右に押して 🗑 を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

4 2回押す

5 押す

- 映像と音楽が再生される。

停止するとき

■（停止）ボタンを押す。

通常のインデックス画面に戻るとき

VIDEO SNAPボタンを押す。

- 本機能で複製した音楽著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。責任を持ってご使用ください。

- プレイリストに登録すると、見たいシーンだけを選んで、順番を入れ換えて再生できます（□ 138）。
- メモリーを初期化すると、記録されている音楽が消去されます。
- 音楽はパソコンを使って付属の「音楽データディスク」から転送できます。その際、再生する動画と同じメモリーに保存してください。詳しくはImageMixer 3のMusic Transfer Utility取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使って本機に音楽を転送するときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつないでからパソコンに接続してください。
- 付属の「音楽データディスク」には、ご購入時内蔵メモリーに保存されていない曲も入っています。
- ボタンを押したり、撮影ダイヤルで静止画モードに切り換えたりすると、ビデオスナップモードは解除されます。
- 記録や消去を繰り返したメモリーに音楽を転送すると、映像と音楽が正しく再生されなくなることがあります。その場合は、動画と静止画をバックアップ（□ 190）してメモリーを初期化してから音楽を転送し、動画や静止画を書き戻すことをおすすめします。
- Music Transfer Utilityを使って音楽を転送しているときに、USBケーブルが抜けると、本機で再生できない音楽ファイルになってしまうことがあります。このような場合には、一度この曲を消去してから、転送し直してください。

撮影チャンスを逃さない

プレRECを設定してから撮影すると、3秒前からの映像が自動的に記録され、決定的瞬間を逃しません。

撮る 見る

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 プレRECを選ぶ

「プレREC 」を選ぶ
→ を押す。

- 「ON」が出る。
- もう一度 を押すと、解除される。
- プレREC設定中は画面に が出る。

3 押す

- ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。

- プレRECを「ON」にしていると、おしらせ音は出ません。
- プレRECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。

プレRECが解除される場合

- プレRECを設定した後、約5分間操作しなかったとき。
- 撮影ダイヤルや ボタン、FUNC.ボタンを操作したとき。
- ビデオスナップモードをONにしたとき。
- クイックスタート機能を使用したとき。

セルフタイマーを使う ビデオ 写真

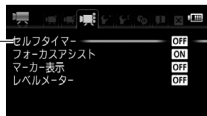
自分を入れて撮影するときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

1 押す

- 動画を撮影しているときは、撮影一時停止中に操作する。

2 セルフタイマーを選ぶ

❶ (メニュー)→ または →「セルフタイマー」を選ぶ→ SET を押す。

❷「入」を選ぶ→ SET を押す。

解除するとき

「切」にする。

3 押す

- 画面にが出る。

4 **動画の場合** 押す

- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。
- 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

セルフタイマーが解除される場合

- 撮影開始までの時間が出ているときに、START/STOPボタン（動画のとき）やPHOTOボタン（静止画のとき）を押す。
- 電源を切る。
- ボタンや撮影ダイヤルを操作する。
- クイックスタート機能を使用する。

明るさを調整する ビデオ 写真

逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。FUNC.メニューの撮影モードを「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 露出を選ぶ

「露出 」を選ぶ → SET を押す。

- 明るさが固定される。
- 「±0」が出る。明るさによって長さや調整範囲が変わる。
- ズームレバーを動かすと、明るさが変わることがある。

3 露出を調整する

❶ 左右に押す。

❷ 下に押す。

- 調整後の明るさで固定される。

自動の露出調整に戻すとき

SET を2回押す。

逆光下で撮るときは

窓際や水辺の人物を撮るときなど、逆光下での撮影では一般的に被写体が暗くなります。このようなときは逆光補正を使うと、明るさを補正して被写体を明るく撮影できます。

❶ ジョイスティックを上に押す。

- 操作案内が出る。

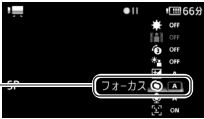
❷「逆光補正」を選ぶ→ SET を押す。

逆光補正を解除するとき

もう一度 SET を押す。

MEMO ● 露出を手動で調整後、撮影モードを切り換えると自動調整に戻ります。

ピントを合わせる ビデオ 写真

自動でピントが合いにくい場合は、ピントの調整をします（マニュアルフォーカス）。なお、ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 フォーカスを選ぶ

「フォーカス ◎ 」を選ぶ → SET を押す。

- ピントが固定され、「MF」が出る。

3 ピントを合わせる

❶ 左右に押す。

- メニューの「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、画面の中央が拡大される（🕮 120）。

❷ 左右に押し続ける。

- 右に押し続けて遠くのものにピントを合わせると、画面に∞が出ます。花火や山などを撮影するときに便利です。

❸ 下に押す。

- 調整後のピントで固定される。

自動のピント合わせに戻すとき

SET を2回押す。

顔を拡大してピントを合わせたいときは

フェイスキャッチをONにしているときに、人物の顔を拡大してピントを合わせることができます。複数の人物がいる場合は画面内の特定の人物を選択し、顔を拡大してピントを調整できます。

1. フェイスキャッチをONにする（📖 93）。

複数の人物から特定の人を選ぶとき

ジョイスティックを左右に押して、メインの被写体に白い枠を合わせる。

2. 操作1〜3までを行う。
   - 顔に枠が出ているときにジョイスティックを左右に押すと、顔が拡大される。

自動でピントが合いにくいときはどんなとき？

強い光が反射

動きが速い

夜景

画面の中央に明暗の差がない

水滴が付いているガラス越しの撮影

顔のピントや明るさを自動で調整する

人物の顔を検出して、自動的にピントや明るさを調整します。複数の人物がいる中で、特定の人を狙って撮影することもできます。

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 フェイスキャッチを選ぶ

「フェイスキャッチ」を選ぶ。

- 「ON」が出る。表示されないときは SET を押す。

解除するとき

SET を押す。

3 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

複数の人物から特定の人を選ぶとき

左右に押して、特定の人物を選ぶ。

● 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合はフェイスキャッチを「OFF」にしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチが使用できない場合

- FUNC.メニューの撮影モードを「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」、「水中」または「水上」に設定しているとき。
- シャッタースピードを1/30秒未満にしているとき（メニューの「フレームレート」を「PF24」にしているときは、1/24秒未満）。
- デジタルズームで60倍を超えて拡大（青色のズーム表示）しているとき。

● フェイスキャッチを「ON」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上になります。メニューの「フレームレート」を「PF24」にしているときは、1/24秒以上になります。

色合いを調整する ビデオ 写真

太陽光や蛍光灯など、周りの光によって白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色を調整できます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、シネマモードのときに調整できます。

1 押す

2 目的のホワイトバランスを選ぶ

❶ 上下に押してAWBを選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

AWB	オート	通常はAWB（オート）を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
☀	太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
	日陰	日陰で撮影するときに選択。
	くもり	曇天時に撮影するときに選択。
	電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。

蛍光灯H　昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。

セット　上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

（セット）を選んだとき

❸白紙、白布を写す。

- T側にして、画面いっぱいに写す。

❹ SET を押す。

- （セット）が点滅 → 点灯に変わったら調整完了。調整内容は電源を切っても記憶されている。

3 押す

(セット)を選んで調整するとき

- 明るさが十分な場所で操作してください。
- メニューの「デジタルズーム」を「切」にしてください(□ 117)。
- 光が変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに(セット)が点滅→点灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB(オート)でうまくいかないとき

つぎのような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば(セット)で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影。

● 蛍光灯の種類によっては、(蛍光灯)や(蛍光灯H)を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB(オート)または(セット)を選んでください。

好みの画質にする ビデオ 写真

肌をなめらかに表現してきれいに撮影したり、コントラストに強弱を付けて撮影したりすることができます。撮影モードが **P**、**Tv**、**Av**、シネマモードのときに設定できます。

撮る 見る　撮影ダイヤル

1 押す

2 目的の画質効果を選ぶ

❶ 上下に押して OFF を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

OFF 画質効果切	画質効果を使わないとき。
V くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調。
N すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑える。
LS ソフト	輪郭の強調を抑える。
SD 美肌	肌をなめらかに表現して、きれいに見せる。
C カスタム	色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを自由に設定。

◆c（カスタム）を選んだとき

❸ SET を押す→上下に押してカスタムの項目を選ぶ。

❹ 左右に押して調整する→ SET を押す。

色の濃さ	：薄い（－）、濃い（＋）
シャープネス	：弱い（－）、強い（＋）
コントラスト	：弱い（－）、強い（＋）
明るさ	：暗い（－）、明るい（＋）

3 押す

場面の切り換えと特殊効果

映像の始まりと終わりを演出するフェーダーや、色を変えるエフェクトを使って、思い出のシーンや静止画にひと工夫加えてみましょう。静止画のときは「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。

フェーダー

映画のようにシーンの始まりと終わりを演出します。

F1 オートフェード

F2 ワイプ

エフェクト

シロクロやセピアにして雰囲気を出したり、絵画のようなイメージにすることができます。

E1 シロクロ

E3 アート

■ 効果を選ぶ

1 押す

2 目的のデジタルエフェクトを選ぶ

❶ 上下に押して を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

■ 効果をつけて撮影する

1 デジタルエフェクトを有効にする

❶ 上に押す。

- 操作案内が出る。

❷「D.エフェクト 」を選ぶ→ SET を押す。

- 緑色に変わる。

デジタルエフェクトを無効にするとき

SET をもう一度押す。

2 動画の場合 押す

- 撮影一時停止中(●❚❚)にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。撮影中(●)に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影一時停止になる。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。
- 静止画が「シロクロ」または「セピア」で記録される。

フェーダーが使用できない場合

- ビデオスナップモードのとき
- プレRECが「ON」のとき

画面の表示を切り換える

ビデオ
写真

画面に表示する撮影情報を切り換えられます。

撮る 見る

撮影ダイヤル

DISP.
BATT. INFO

1 押す

- 表示される撮影情報は、押すたびに切り換わる。

例： 動画撮影中の場合

▲ すべて表示
▼

●や●❚❚は表示される。

表示なし

表示される内容や切り換わりかた

動画撮影中	すべて表示 → 表示なし*
動画再生中	すべて表示 → メニューの「データコード表示」の設定情報を表示 → 表示なし
静止画撮影中	すべて表示 → 表示なし*
静止画再生中	すべて表示 → 記録枚数、日時、画質などを表示 → 表示なし

* 操作案内やメニューで設定したマーカー、レベルメーターは表示される。

データコードとは？

日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり）などの撮影情報を「データコード」といいます。データコードはメニューの「データコード表示」で切り換えられます（□ 121）。

録音時の音量を変える

ビデオ
写真

内蔵マイクや外部マイクの録音時の音量（マイクレベル）を手動で調整できます。

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 マイクレベルを選ぶ

「マイクレベル」を選ぶ→ SET を押す。

- レベルメーターとオレンジ色のバーが出る。

3 左右に押してマイクレベルを調整する

- レベルメーターが12より右の位置で時々点灯するように調整する。

4 下に押す

- 録音レベルが固定され、操作案内が消える。

自動調整に戻すとき

SET を2回押す。

- 「A」が表示される。

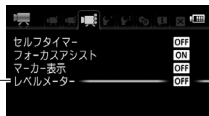
■ レベルメーターを表示する

レベルメーターを常に表示して、撮影中に録音時の音量を確認することができます。

1 押す

2 レベルメーターを表示する

❶ (メニュー)→ →「レベルメーター」を選ぶ→ SET を押す。

❷「入」を選ぶ→ SET を押す。

3 押す

- レベルメーターが出る。

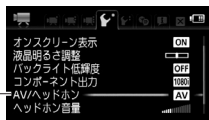
MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください（ 119）。
- マイクレベルを調整したり、「マイクアッテネーター」を使ったりするときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします（ 107）。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V1に入れて撮影する場合の制限事項については268ページをご覧ください。

ヘッドホンを使う ビデオ 写真

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

（ヘッドホン）端子は、AV OUT端子と兼用ですので、ヘッドホンを使うときは、まずメニューで切り換えます（ 123）。 デュアルショットモードでヘッドホンを使うときは、あらかじめ 動画モードか 静止画モードで設定を切り換えた後に行ってください。

撮る 見る　撮影ダイヤル

1 押す

2 ヘッドホンを選ぶ

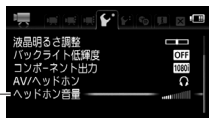
❶ （メニュー）→ →「AV/ヘッドホン」を選ぶ→ を押す。

❷「ヘッドホン」を選ぶ→ を押す。

3 ヘッドホン音量を調整する

❶「ヘッドホン音量」を選ぶ→ を押す。

❷ 左右に押して音量を調節する→ を押す。

4 押す

- 画面に が出る。

■ 再生中にヘッドホン音量を調整する

撮る **見る***

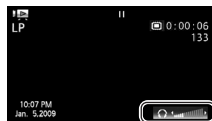
* 静止画の場合、スライドショーで音楽と一緒に再生しているときのみ調整できます。

1 再生中 上に押す

- 操作案内が出る。

2 音量を調整する

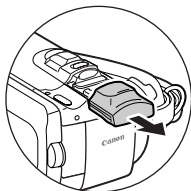
❶ を選ぶ。

❷ 左右に押して音量を調整する。

- ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。
- 画面に が出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。雑音によって耳を痛める恐れがあります。

- 再生時に設定した「AV/ヘッドホン」は、 ボタンを押すと「AV」に戻ります。

別売アクセサリーを使う ビデオ 写真

本機のミニアドバンストシューに、別売の各種アクセサリーを取り付けられます。取り付け方や使い方については、各アクセサリーの説明書もあわせてご覧ください。

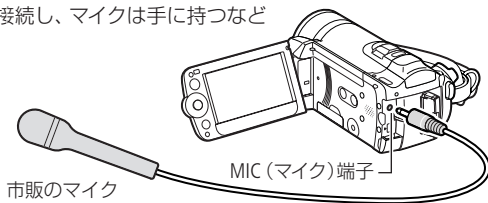
取り付けかた

● 本機には、右のロゴ表記がある「ミニアドバンストシュー」対応アクセサリーをご利用ください。従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは取り付けられません。

■ 指向性ステレオマイクロホンDM-100（別売）を使う

撮る 見る　撮影ダイヤル

とらえたい音声を確実に記録したいときなどは、指向性ステレオマイクロホンDM-100を使用すると、大切なシーンの言葉を逃しません。外部マイクDM-100を取り付けると、画面に が表示されます。

市販のマイクを使うとき

MIC端子に接続し、マイクは手に持つなどして使う。

MEMO

- 静かな場所で撮影するときに、内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合は、外部マイクの使用をおすすめします。
- 市販のマイクを使うときは、電源内蔵タイプのコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどが使用できます。音量は内蔵マイクと異なります。
- 外部マイク接続中、メニューで設定した「ウィンドカット」は自動的に「切」になります。
- 音声がひずむときは、メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください。それでもひずむときは、マイクレベルを調整してください（📖 104）。

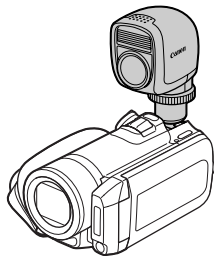
■ ビデオライトVL-5（別売）を使う

撮る 見る　撮影ダイヤル

内蔵ミニビデオライトよりも強く発光します。ビデオライトを取り付けて、ビデオライトの電源スイッチを「AUTO」または「ON」にすると、画面に が表示されます。

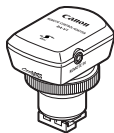
■ ビデオフラッシュライトVFL-2（別売）を使う

撮る 見る　撮影ダイヤル

内蔵フラッシュよりも強く発光します。フラッシュの設定のしかたは、内蔵フラッシュ（🕮 154）と同じです。ビデオライトとして使用することもできます。ビデオフラッシュライトを取り付けて、ビデオフラッシュライトの電源スイッチを「AUTO」または「ON」にすると、画面に が表示されます。

- フラッシュを使うときは、約1～4mの距離で撮影できます。撮影条件により、距離は変わります。
- 別売のビデオライトを使用すると、本機のミニビデオライトは自動的に使用できなくなります。別売のビデオライトのスイッチをOFFにしてから、本機のミニビデオライトを点灯してください。

■ リモートコントロールアダプターRA-V1（別売）を使う

撮る 見る　撮影ダイヤル

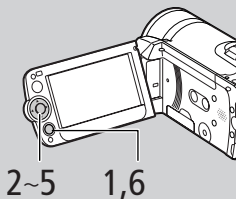
別売のズームリモートコントローラーZR-2000と一緒に使うと、ビデオカメラを三脚などにすえつけたまま、撮影操作を手元で行えます。リモートコントロールアダプターRA-V1を取り付けると、画面に が表示されます。

ZR-2000で操作できる機能

電源のON/OFF、START/STOP、ズーム、フォーカス（マニュアル／オート切り換え、フォーカス調整、プッシュAF*[1]）、フォーカスアシスト、オンスクリーン

*[1] プッシュAFは、マニュアルフォーカスを使用中、ボタンを押しているときだけ自動的にピントを合わせる機能です。

各機能の詳細については、ズームリモートコントローラーの使用説明書をご覧ください。

● デュアルショットモードのときは、電源のON/OFF、START/STOP、ズームのみ操作できます。

メニューの設定を変える

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。撮影ダイヤルを、動画または写真にして操作します。撮影ダイヤルをかんたんモードにすると、一部の機能を除いてご購入時の設定になります。

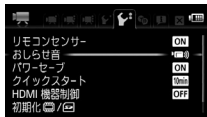
例「おしらせ音」を「切」に設定する

1 押す

2 上下に押して (メニュー)を選び、SET を押す

● 再生時は左右に押す。

3 左右に押して項目を選ぶ

4 上下に押して機能を選び、SET を押す

5 上下に押して設定内容を選び、SET を押す

6 押す

- FUNC.ボタンを1秒以上押したり、リモコンのMENUボタンを押してもメニューを表示できます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

■ メニューの紹介

設定できる機能は、●で表示されています。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。□欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご覧ください。

カメラ設定1

機能	設定内容	動画	静止画	□
動画記録	**内蔵メモリー**、カード	●	●	33
静止画記録	**内蔵メモリー**、カード	●	●	33
フレームレート	60i **標準（60i）**、PF30 PF30、PF24 PF24	●		－
x.v.Color	ON 入 color、OFF **切**	●		－
縦横自動回転	ON **入**、OFF 切		●	－

フレームレート

「PF24」に設定すると、映画の雰囲気で撮影できます。

60i	通常通りに撮影する。
PF30	映像を30コマ/秒で送る方式で撮影する。インターネットに映像を掲載するときなどに便利。
PF24	映画と同じように映像を24コマ/秒で送る方式で撮影する。「シネマモード」（□ 79）と組み合わせると、より映画の雰囲気に近い映像になる。

x.v.Color

広い色空間で動画を記録。目で見た色に近い映像を再現します。

- x.v.Colorに対応したテレビにHDMIケーブルでつないで再生するときのみ、「入」にして撮影してください。x.v.Color非対応のテレビで再生すると、色が正しく表現されないことがあります。

縦横自動回転

本機を縦位置にして縦長に記録した静止画を、再生時正しい向きに回転して表示します。

/ カメラ設定2

機能	設定内容	動画	静止画	参照ページ
デジタルズーム	OFF **切**、60x 60x、300x 300x	●		–
ズームスピード	VAR **可変速**、スピード3 スピード2、スピード1	●	●	47
AFモード	S.AF **ハイスピードAF**、AF ノーマルAF	●	●	–
AF補助光	A **オート**、OFF 切		●	155
フォーカス優先	AiAF **入:AiAF**、入:中央固定、OFF 切		●	–
手ブレ補正	**ダイナミック**、スタンダード、OFF 切	●		–
	ON **入**、OFF 切		●	
オートスローシャッター	ON **入**、OFF 切	●		–
ウィンドカット	A **オート**、OFF 切	●		–
マイクアッテネーター	ON 入 ATT、OFF **切**	●		–

デジタルズーム

デジタルズームの設定を選びます。

- デジタルズームを設定したときは、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。
- ズーム表示は、15倍から60倍までは水色、60倍から300倍までは青色になります。

AFモード

ピントが合う速さを選びます。

設定	説明
ハイスピードAF	遠くと近くの被写体に順にピントを合わせるときや、子供を追いかけるときなど被写体が速く動くときに、素早くピントを合わせる。
ノーマルAF	別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを使うときなど、ハイスピードAFセンサーを隠してしまうときに使用する。

- 別売のウォータープルーフケースWP-V1に入れて撮影する場合の制限事項については268ページをご覧ください。

フォーカス優先

PHOTOボタンを浅く押したときに表示されるピントを合わせる枠（AF枠）の選びかたを変えられます。

入：AiAF	撮影状況によって、9つの枠の中から、自動でピントを合わせる枠を選ぶ。
入：中央固定	9つの枠の中央にピントを合わせる。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利。
切	PHOTOボタンを押してすぐに記録したいとき。AF枠は表示されない。

- FUNC.メニューの撮影モードを「打上げ花火」に設定しているときは、自動的に「切」になります。
- フォーカス優先が「入:AiAF」または「入:中央固定」で、操作案内の「フェイスキャッチ」を「ON」にしているときは、検出した顔にピントを合わせます。

手ブレ補正

手ブレの少ない安定した画面で撮影できます。撮影のしかたによって補正方式を選べます。

ダイナミック	歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。
スタンダード	静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。 別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを使うときはこの設定にする。
切	三脚などを使って撮影するとき。

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 静止画のときは「入」「切」になります。

オートスローシャッター

暗めの室内など明るさが不足する場所でスローシャッターを使って明るく撮影します。

- 1/30秒までのスローシャッターになります。メニューの「フレームレート」を「PF24」に設定しているときは1/12秒、「PF30」に設定しているときは1/15秒までになります。
- 撮影モードが「**P**（プログラムAE）」のときに設定でき、デュアルショットに切り換えても設定は変わりません。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ブレ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。
- 別売のウォータープルーフケースWP-V1に入れて撮影する場合の制限事項については268ページをご覧ください。

ウィンドカット

風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動的に低減できます。

- 低い音の一部も風の音と一緒に低減されますので、風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、設定を解除することもできます。

マイクアッテネーター

録音した音声がひずむときに使います。

- マイクレベル（ 104）を適切に設定しているのに録音した音声がひずむときは、マイクアッテネーターを「入」にします。「入」にすると画面に **ATT** が出ます。

カメラ設定3

機能	設定内容	動画	静止画	参照ページ
セルフタイマー	ON 入 、OFF 切	●	●	87
フォーカスアシスト	ON 入、OFF 切	●	●	–
マーカー表示	OFF 切、水平（白）、水平（グレー） グリッド（白）、グリッド（グレー）	●	●	–
レベルメーター	ON 入、OFF 切	●		104
静止画確認時間	OFF 切、2sec 2秒、4sec 4秒、6sec 6秒、 8sec 8秒、10sec 10秒		●	–

フォーカスアシスト

ピントを調整するとき、画面の中央を拡大し、くっきりと表示することでピントを調整しやすくします。（91）。

- フェイスキャッチを「ON」にしているときは、顔が拡大されます。
- 記録する動画/静止画には影響しません。撮影を開始するか、4秒経過すると解除されます。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線（グリッド）を表示します。被写体が水平/垂直になっているかを確認しながら撮影できます。

- 撮影した動画/静止画には表示しません。

静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を変えます。

- ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。
- 静止画確認時間中にDISP.ボタンを押すと、静止画が表示され続けます。PHOTOボタンを浅く押すかFUNC.ボタンを押すと、撮影状態に戻ります。

/ 再生設定

機能	設定内容	動画	静止画	ページ
静止画記録	**内蔵メモリー**、カード	●		33
あとからフォト	**単写**、連写	●		168
あとからフォト画質	MW スーパーファイン、**MW ファイン**、MW ノーマル	●		168
データコード表示	日付、時刻、**日付&時刻**、カメラデータ	●		–
USB接続指定	DVDライター、パソコンなど、**接続時に選択**	●	●	–
DVDライター書き込み指定	**全シーン**、未作成シーン、プレイリスト	●		192
	全ての静止画、送信指定静止画		●	192
→印刷	–		●	187

データコード表示

日付や時刻、カメラデータの表示のしかたを切り換えます。

USB接続指定

他の機器とUSBケーブルでつないだときの動作を選びます。

DVDライター	DVDライターDW-100（別売）とつなぐとき。
パソコンなど	パソコンやプリンターなどDVDライターDW-100以外の機器とつなぐとき。
接続時に選択	USBケーブルをつないだときに、相手がDVDライターDW-100（別売）か、それ以外かを選びたいとき。

システム設定1

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	静止画撮影	静止画再生	参照ページ
文字サイズ	A 大、A **小**	●	●	●	●	–
オンスクリーン表示	ON **入**、OFF 切	●		●		–
液晶明るさ調整	（スライダー）	●	●	●	●	–
バックライト低輝度	ON 入、OFF **切**	●	●	●	●	–
コンポーネント出力*1*2	480i 480i、1080i **1080i**	●	●	●	●	–
テレビタイプ*1	4:3 ノーマルテレビ、16:9 **ワイドテレビ**		●			–
AV/ヘッドホン	AV **AV**、ヘッドホン	●	●	●	●	107
ヘッドホン音量	（音量）、OFF	●	●	●	●	107
スピーカー音量	（音量）、OFF		●		●	51
デモモード	ON **入**、OFF 切	●		●		–

*1 HDMIケーブルで他の機器に接続している場合は、設定できません。

*2 テレビタイプを「ノーマルテレビ」にしているときは、自動的に「480i」に設定されます。

文字サイズ

メニュー画面などで表示する文字の大きさを切り換えます。

- 「大」にすると、画面によっては表示内容が省略されたり、文字サイズが大きくならなかったりすることがあります。またメニュー項目が1画面に表示されないことがあります。その場合は、上下に押すと残りの項目を表示できます。

オンスクリーン表示

液晶画面に表示される情報を、本機に接続したテレビの画面に表示します。

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ジョイスティックを左右に押して、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

バックライト低輝度

暗い所で撮影するときなどは周囲に配慮して、画面の明るさを暗くすることができます。

- コンパクトパワーアダプターにつないでいる場合、「入」に設定しても電源を入れ直すと「切」になります。バッテリーのみで操作している場合は、「切」になりません。
- DISP.ボタンを約2秒以上押すと「切」にできます。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 「切」にすると、低輝度に設定する前の明るさに戻ります。

コンポーネント出力

D端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

480i	D1端子（480i）対応のテレビにつなぐとき。
1080i	D3/D4/D5端子（1080i）対応のテレビにつなぐとき。

テレビタイプ

接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦・横の比率を正しく再生します。

4:3 ノーマルテレビ	ノーマルテレビに接続するときに選ぶ。
16:9 ワイドテレビ	ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

- テレビタイプの設定を「4:3」にして、「16:9」で撮影した映像を再生すると、液晶画面に表示される映像が小さくなります。

デモモード

機能紹介（デモモード）の映像を画面に表示します。

- コンパクトパワーアダプター使用時に、カードが入っていない状態で約5分経過するとデモモードとなり、機能紹介が始まります。デモモードにしない場合は、「切」に設定します。
- なんらかの操作をするとデモモードは終了します。

システム設定2

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	静止画撮影	静止画再生	参照ページ
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	–
おしらせ音	大、小、OFF 切	●	●	●	●	–
パワーセーブ	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	–
クイックスタート	OFF 切、10min **10分**、20min 20分、30min 30分	●		●		–
HDMI機器制御*1	ON 入、OFF **切**	●	●	●	●	–
初期化 内蔵メモリー/SD	[内蔵メモリー、カード] 初期化、完全初期化、キャンセル	●	●*2	●	●	34
静止画番号	オートリセット、**通し番号**	●	●	●	●	–
Firmware	–				●	–

*1 HDMIケーブルで他の機器に接続している場合は、設定できません。

*2 オリジナルのときのみ。

リモコンセンサー

リモコンの信号を受け付けるかどうかを設定します。

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ

バッテリーを使用時、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「 AUTO POWER OFF」が表示されます。
- スタンバイ中は、メニューの「クイックスタート」で設定した時間で電源が切れます。

クイックスタート

スタンバイ中、設定した時間になると節電のために電源が切れます。

- 「切」にすると、クイックスタート機能は使用できなくなります。

HDMI機器制御

HDMI機器制御機能（HDMI CEC*）対応のテレビとHDMIケーブルでつないだとき、テレビとビデオカメラの操作を連動させることができます。

- 「入」に設定した後にテレビにつなぐと、テレビ側の入力が自動的にビデオカメラを接続しているHDMI端子に切り換わり、テレビのリモコンで映像を再生できます。リモコンの▲/▼/◀/▶のボタンを押してシーンまたは静止画を選び、決定ボタンを押すと再生します。
- テレビによってはHDMI機器制御機能を有効にする必要があります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- HDMI機器制御機能に対応したテレビであっても、正しく操作できないことがあります。その場合は、本機の「HDMI機器制御」を「切」にして、ビデオカメラ側で操作して再生してください。
- HDMI機器制御機能は、本機が動画/静止画の見るモードの場合に使用できます。撮影時に使用すると、本機が撮影中でも、テレビの電源OFFに連動して、ビデオカメラの電源が切れることがあります。

* HDMI CECとは、HDMI規格で決められた相互機器制御機能のことです。

静止画番号

静止画の静止画番号の付けかたを選びます。

オートリセット	静止画番号は101-0101から始まる。すでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	静止画番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。静止画番号の方が大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 記録された静止画は、自動的に0101～9900までの静止画番号が付き、1つのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには、101～998までの番号が付きます。
- 例えば「101-0107」という静止画番号の場合、「DCIM¥101CANON」というフォルダーにある「IMG_0107.JPG」という静止画を指します。
- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

Firmware

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。

- 通常は灰色で表示されます。

言語・日時設定

機能	設定内容		動画再生		静止画再生	
言語	**日本語**、ENGLISH	●	●	●	●	–
エリア/サマータイム	–	●	●	●	●	27
日付/時刻	–	●	●	●	●	28
日時スタイル	**Y.M.D AM/PM (2009.1.1 AM12:00)** 、 Y.M.D 24H (2009.1.1 0:00) M.D,Y AM/PM (Jan.1,2009 12:00AM) M.D,Y 24H (Jan.1,2009 0:00) D.M.Y AM/PM (1.Jan.2009 12:00AM) D.M.Y 24H (1.Jan.2009 0:00)	●	●	●	●	–
カレンダー指定	土曜、**日曜**、月曜		●			–

言語

画面に表示される言語を変えます。

日時スタイル

日時の表示のしかたを変えます（印刷時を含む）。

カレンダー指定

カレンダー表示の開始曜日を変更できます。

情報表示

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	静止画撮影	静止画再生	📖
内蔵メモリー情報表示	–	●	●	●	●	–
カード情報表示	–	●	●	●	●	–
バッテリー情報	–	●	●	●	●	–
HDMI出力状態	–	●	●	●	●	–

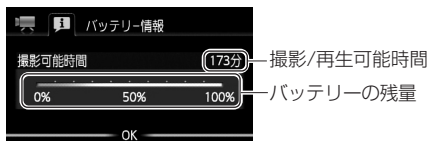
内蔵メモリー情報表示 / カード情報表示

内蔵メモリーやカードの総容量/使用量、動画の撮影時間/撮影可能時間*、静止画の記録枚数/記録可能枚数*を確認できます。カードの場合はSDスピードクラスも確認できます。

* 現在設定している動画の録画モードや静止画の画質/サイズをもとに算出します。

** カード情報表示の画面を載せています。

バッテリー情報

バッテリーの残量(%)と撮影/再生可能時間(分単位まで)を確認できます。

HDMI 出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

シーンを分割する

撮影したシーンを分割することで、不要なシーンを消すことができます。オリジナルのシーンのみ分割できます。

撮る 見る

1 分割するシーンを選ぶ

2 押す

3 分割を選ぶ

左右に押して（分割）を選ぶ→ SET を押す

- 再生が始まる。

4 分割する

❶ 分割する位置を決める。

⏮/⏭ ：シーンの先頭または最後へ。
◀◀/▶▶ ：早戻し／早送り（再生中）。
◀II / II▶ ：逆コマ送り／コマ送り（一時停止中）。

- 分割する位置で ▶/II ボタンを押して一時停止する。

中止するとき

■（停止）ボタンまたはFUNC.ボタンを押す。

❷ 左右に押して ✂（分割）を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 分割した元のシーンの次に挿入される。

- 分割する位置を決めるとき、コマ送りの1コマは通常再生のときの1コマより長くなります。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

分割できない場合

- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始めまたは終わりから約1秒以内の位置のとき。
- ビデオスナップのシーンのとき。
- 選択設定されているシーンのとき。
- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。
- 他機で記録・編集したシーンのとき。
- メモリーの空き容量が少ないとき。

プレイリストを作る

プレイリストとは再生(プレイ)したい順にシーンを並べた一覧(リスト)のことです。お好みのシーンを集めて自分だけのアルバムができます。オリジナルデータまたはビデオスナップの1つのシーン、あらかじめ選んだシーンまたは撮影したある日の全シーンをプレイリストに追加できます。

撮る 見る

1 ビデオスナップのシーンから作るとき 押す

2 シーンを選ぶ

- あらかじめ選んだシーンを追加する場合は、「選択」で選ぶ(63)。
- 撮影したある日のすべてのシーンを追加する場合は、その日のシーンの内の1つを選ぶ。

3 押す

4 (プレイリスト追加)を選び、SET を押す

5 項目を選ぶ

❶「この日の全シーン」、「1シーン」または「選択したシーン」を選ぶ→ SET を押す

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在インデックス画面を表示しているメモリーのプレイリストに追加される。
- 追加したシーンを確認するときは、PLAYLISTボタンを押す。

- プレイリストのシーンを編集しても、オリジナルデータは変わりません。

プレイリストに追加できない場合

- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。
- 他機で記録・編集したシーンのとき。
- メモリーの空き容量が少ないとき。

- 内蔵メモリーとカードの両方のシーンを同じプレイリストに追加するときは、まず追加したい内蔵メモリーのシーンをカードにコピーし（📖 139）、次にカードのシーンを選んでプレイリストに追加します。

プレイリストのシーンを消す

ビデオ
写真

プレイリスト内の不要なシーンを、1シーンだけまたは全シーンをまとめて消すことができます。

撮る 見る

1 押す

2 ビデオスナップのシーンのみ消すとき 押す

3 1シーンだけ消すとき 消すシーンを選ぶ

4 押す

5 シーンを消す

❶ 左右に押して 🗑(消去)を選ぶ→ SET を押す。

❷「全シーン」または「1シーン」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET (中止)を押す。「全シーン」を選んでいるときは操作を中止できる。一部のシーンは消去される。

❹ SET (OK)を押す。

6 押す

ビデオ
4 編集する

プレイリストのシーンを並べ換える

プレイリスト内のシーンをお好みの順に並べ換えられます。

撮る **見る**

1 押す

2 ビデオスナップのシーンのみ移動するとき 押す

3 シーンを選ぶ

4 押す

5 (移動)を選び、SET を押す

6 移動する位置を選ぶ

1. バーを移動する位置に動かす→ SET を押す。
2. 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

移動前の位置　移動先の位置

- メモリーの空き容量が少ないとプレイリストのシーンの並べ換えができないことがあります。

プレイリストのシーンを音楽と一緒に再生する

プレイリスト内のシーンやプレイリスト内のビデオスナップを音楽と一緒に再生できます。

撮る 見る

1 押す

2 ビデオスナップを再生するとき 押す

- ビデオスナップ以外のシーンも再生するときは、操作2は不要。

3 選曲して再生する

- 83ページの操作2～5を行う。

シーンをコピーする ビデオ 写真

内蔵メモリーからカードにのみ動画をコピーできます。1つのシーン、あらかじめ選んだシーン、撮影したある日のすべてのシーンまたは記録されたすべてのシーンをコピーできます。プレイリストの場合は、すべてのシーンをまとめてコピーする方法のみになります。静止画のコピーについては、173ページをご覧ください。

撮る 見る

1 シーンをコピーするインデックス画面を出す

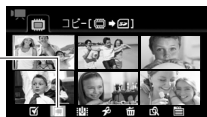
- プレイリストのときはPLAYLISTボタンを、ビデオスナップのときはVIDEO SNAPボタンを、ビデオスナップのプレイリストのときは両方のボタンを押す。

2 内蔵メモリーのシーンを選ぶ

- あらかじめ選んだシーンをコピーする場合は、「選択」で選ぶ（□ 63）。
- 撮影したある日のすべてのシーンをコピーする場合は、その日のシーンの内の1つを選ぶ。
- 全シーンをコピーするときは操作2は不要。

3 押す

4 コピーする

❶ 左右に押して （コピー［ → ］）または （コピー ［ → ］）を選ぶ→ を押す。

❷ 上下に押して「全シーン」、「この日の全シーン」、「1シーン」または「選択したシーン」を選ぶ→ SET を押す。

- プレイリストのときはこの操作は不要。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET（中止）を押す。

❹ SET（OK）を押す。

5 押す

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - 撮影ダイヤルを切り換えない。
  - 動画/再生 ボタンを押さない。

コピーできない場合

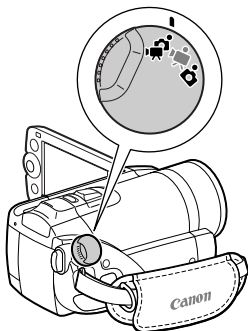
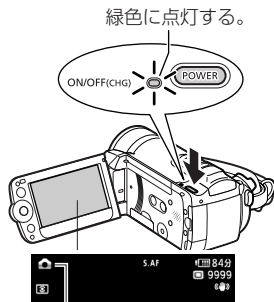
- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- 付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンのとき。
- 他機で記録したシーンがあるとき。

Chapter
3
写真

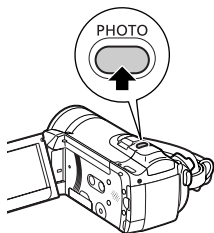
Taking and Viewing Photos

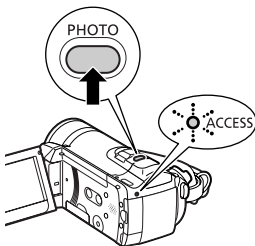
写真を撮る ビデオ 写真

静止画は内蔵メモリーとカードに記録できます。

1 または にする

2 ONにする

または が表示される。

- カードに記録するとき（📖 33）。

3 浅く押し続ける

- ピントを調整し、終わるとが緑色になって緑色の枠が出る。

4 深く押す

- ACCESSランプが点滅。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - 撮影ダイヤルを切り換えない。
  - 🎥⇆▶ ボタンを押さない。

- 自動でピントが合いにくい被写体の場合は、●が黄色くなります。手動でピントを調整してください（📖 91）。
- 被写体が明るすぎると「露出オーバー」が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-H37UのNDフィルターを取り付けてください。

■ いま撮った写真を消す

メニューで設定した静止画確認時間中に、いま撮った静止画を消せます。静止画確認時間（□ 121）を「切」に設定したときは記録直後に消します。単写（□ 156）で記録しているときに操作します。

1 記録直後または静止画確認時間中 SET を押す

- ⁄🗑 が出ていないときは、上または下に押して操作案内を出す。

2 SET を押す

3 静止画を消す

右に押して「はい」を選ぶ
→ SET を押す。

画質やサイズを選ぶ　ビデオ　写真

静止画のサイズは、高画質で撮るときは大きく、枚数を多く撮るときは小さく設定しましょう。LWを選ぶと、ワイド画面で撮影できます。

1 押す

2 サイズを選ぶ

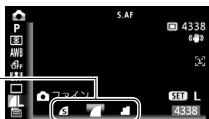
❶ 上下に押してLを選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ→ SET を押す。

記録できる枚数の目安

3 画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。

4 押す

- 画質やサイズ、撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。
- デュアルショットに切り換えても設定した画質やサイズは保持されます。

カードに記録できる枚数の目安

サイズ	LW 2304×1296			L 2100×1575			MW*1 1920×1080		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
128MB	35	50	105	30	45	95	50	75	150
512MB	220	330	655	195	295	595	315	470	925
1GB	465	700	1390	420	630	1265	670	1000	1970

サイズ	M 1600×1200			SW*2 848×480			S 640×480		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
128MB	55	80	160	260	370	740	340	490	890
512MB	340	505	995	1585	2245	4490	2070	2995	5390
1GB	720	1075	2115	3360	4760	9525	4395	6350	11430*3

*1 あとからフォトのとき（ 168）。
*2 動画モードまたはデュアルショットモードで動画撮影中の同時記録（ 158）のとき。
*3 画面には「9999」と出ますが、実際は表の枚数の目安まで記録できます。

スーパーファイン：スーパーファイン、ファイン：ファイン、ノーマル：ノーマル

静止画サイズによって用途が異なります。

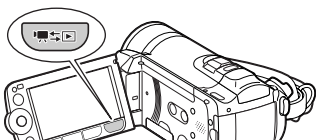
LW、MW：ワイドサイズの用紙に印刷するときやワイドテレビで見るとき
L：A4サイズまでを印刷するとき
M：Lサイズまたはポストカードサイズで印刷するとき
SW：ワイドサイズの用紙に印刷するとき
S：電子メールで添付するときやWeb用

写真を見る

ビデオ
写真

撮る **見る**

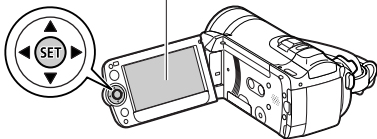
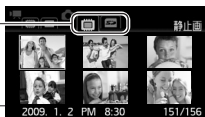
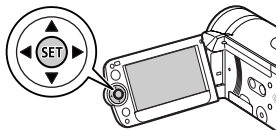
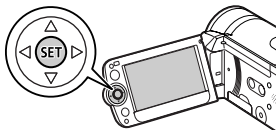
■ 撮影ダイヤルが または のときに見る

1 押す

- 静止画の1枚表示画面が出たときはW側に押す

2 静止画のインデックス画面を表示する

❶ 上に押す。

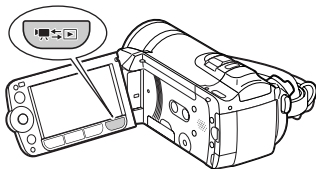
❷ 左右に押して （静止画）の
 または を選ぶ。

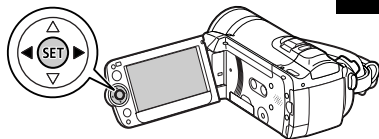
❸ 下に押す。

3 静止画を選ぶ

4 SET を押す

- 静止画が再生される（1枚表示画面）。

■ 撮影ダイヤルが📷のときに見る

1 押す

2 左右に押して静止画を選ぶ

- 左右に押し続けると連続して探せる。

■ 10枚100枚ごとに探す

静止画を10枚または100枚ごとに飛ばして表示できます。

1 上に押す

- 操作案内が出る。

写真

2 簡単に見る（基本編）

2 ジャンプを選ぶ

を選ぶ→ (SET) を押す。

3 左右に押す

- 10枚ごとにジャンプする。
- 上下に押すと、押すたびに10枚ジャンプと100枚ジャンプが切り換わる。
- (SET) を押すと終了する。

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - 撮影ダイヤルを切り換えない。
  - ボタンを押さない。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工をしたとき。
  - パソコンでファイル名を変更したとき。

■ インデックス画面を出す

静止画を1枚表示にしているときにインデックス画面を出す方法です。

1 W側に押す

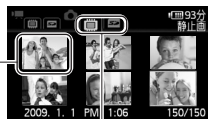
操作案内でインデックス画面を出すとき

❶ ジョイスティックを上に押して、操作案内を出す。

❷ ▦ を選ぶ→ SET を押す。

- インデックス画面に切り換わる。

2 静止画を選ぶ

- オレンジ色の枠を、再生したい静止画に合わせる。

インデックス画面を切り換えるとき（□ 52）

インデックス画面をページごと送るとき

❶ 下に押す。

- スクロールバーが出る。

❷ 左右に押して、インデックス画面を選ぶ。

❸ 上に押す。

- 1枚の静止画の上に枠が出る。

1枚表示画面に戻すとき

SET を押す。

写真を消す

ビデオ
写真

1枚の静止画、あらかじめ選んだ静止画または記録されたすべての静止画をまとめて消すことができます。

撮る 見る

■ 1枚の静止画を再生中に消す

1 静止画を選ぶ

2 上に押す

- 操作案内が出る。

3 静止画消去を選ぶ

❶ を選ぶ→ SET を押す。

❷ 左右に押して「はい」を選ぶ→ SET を押す。

■ 1枚の静止画、選んだ静止画、すべての静止画をまとめて消す

1 インデックス画面で静止画を選ぶ

- あらかじめ選んだ静止画を消す場合は、「選択」で選ぶ（□ 63）。
- すべての静止画を消す場合は、操作1は不要。

2 押す

3 消去を選ぶ

❶ 左右に押して 🗑（消去）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して 「全ての静止画」、「1枚」または「選択した静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET （中止）を押す。「1枚」以外を選んだときは操作を中止できる。

❹ SET （OK）を押す。

4 押す

- **一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。**
- プロテクトされている静止画は消せません。

- 再生中の静止画を、以下の操作で消すこともできます。
  ❶ FUNC.ボタンを押す。
  ❷ ジョイスティックを左右に押して 🗑 を選ぶ→ SET を押す。
  ❸ SET を押す→「はい」を選んで SET を押す。
  ❹ FUNC.ボタンを2回押す。

写真

2 簡単に見る（基本編）

写真を拡大して見る

静止画の1枚表示画面でズームレバーを押すと、最大5倍まで拡大できます。拡大できない静止画のときは、 が表示されます。

撮る 見る

T側に押す

- 拡大した静止画を縮小したいときはW側に押す。

静止画を上下左右に動かす

拡大した後、静止画を上下左右に移動できます。

画面の拡大をやめる

拡大表示枠が消えるまでW側に押し続けます。

上下左右に動かすと静止画が動く。

この枠が消えるまで押し続ける。

フラッシュを使う

ビデオ
写真

フラッシュを使うと、暗いところで静止画をきれいに撮影できます。また、暗いところで人物を撮影したときに目が赤く写る現象を軽減することもできます。

撮る 見る　撮影ダイヤル

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 フラッシュを選ぶ

「フラッシュ ϟ」を選ぶ → SET を押す。

- SET を押すたびに設定が変わる。

ϟA オート	被写体の明るさによって、自動で光る。
赤目緩和オート	赤目緩和用にミニビデオライトが点灯し、フラッシュが自動で光る。
ϟ 強制発光	被写体の明るさに関係なく光る。
発光禁止	光らない。

- ϟA は約4秒後に消える。

PHOTO

3 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。

写真

3 こだわって撮る／見る（応用編）

フラッシュが発光しない場合

- ■ ϟA と ◉ の場合に露出を固定したとき。
- ■ ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
- ■ FUNC.メニューの撮影モードを「夜景*」、「打上げ花火」、「水中」または「水上」に設定しているとき。
- ■ 別売のビデオライトを使用しているとき。

* ϟA または ◉ に設定しているとき。

AF補助光について

PHOTOボタンを浅く押したときに、被写体が暗くてピント合わせができない場合は、被写体を照らすためにミニビデオライトが点灯することがあります（AF補助光）。AF補助光は点灯しないようにすることもできます（ 📖 116）。なお、AF補助光が点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。

- ■ 別売のウォータープルーフケースWP-V1に入れて撮影する場合の制限事項については268ページをご覧ください。

- ● フラッシュで撮影できる距離は、約1〜2mです（撮影条件により距離は変わります）。
- ● 連写のときはフラッシュの光量が減るため、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。
- ● ◉ では、写される人が赤目緩和用のミニビデオライトを見る必要があります。赤目緩和効果の度合は、写される人との距離によって異なり、また、個人差があります。
- ● 露出を固定したときは、フラッシュの設定を変更できません。
- ● 別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを取り付けると、影が映るため、フラッシュは使わないことをおすすめします。

連写する

ビデオ
写真

運動会で走る子供を連続して静止画で記録したり、子供の表情を自動的に3段階の明るさにして撮ったりできます。FUNC.メニューの撮影モードを「打上げ花火」に設定しているときは操作できません。

1 押す

2 設定する内容を選ぶ

❶ 上下に押して□を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

□	単写	1枚の静止画を撮影。
	連写	連続撮影。
	高速連写	高速の連続撮影。
	AEB	標準、暗め、明るめの順で3枚の静止画を連続撮影。撮影後、最適な明るさを簡単に選べる。

3 押す

4 浅く押す

- ピントを合わせる。

5 連写／高速連写の場合 深く押し続ける
AEBの場合 深く押す

1回の連写で記録できる最大枚数

1秒あたりの記録枚数			連続記録可能枚数
連写	高速連写	フラッシュ使用時	
約3枚	約5枚	約2.1枚	60枚

* 枚数は撮影条件や被写体によって変わります。スローシャッター（1／30秒以下）のときは、1秒あたりの連写枚数が少なくなります。

- AEBはAuto Exposure Bracketing（オート エクスポージャー ブラケッティング）の略。

ビデオを撮りながら写真も撮る

動画撮影中または撮影一時停止中に、静止画を記録できます。静止画のサイズや画質は選べます。

撮る 見る

* デュアルショットモードのときはサイズや画質を変更できません（ 159）。

1 撮影一時停止中 押す

- デュアルショットの場合、操作5のみを行う。

2 サイズを選ぶ

❶ 上下に押して OFF を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ→ SET を押す。

- デュアルショットモードの動画撮影中または動画モードの場合、静止画は16 : 9で記録される。

3 画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。

記録できる枚数の目安

4 押す

PHOTO

5 撮影中 撮影一時停止中 押す

- 静止画が記録される。

デュアルショットモードで記録した静止画のサイズ・画質

- 動画撮影中に静止画記録した場合：
  動画モードで設定したサイズや画質で記録される。
- 撮影一時停止中に静止画記録した場合：
  静止画モードで設定したサイズや画質で記録される。

静止画をより高画質で撮影するには

- 静止画モードで撮影する。
- デュアルショットモードで、動画の撮影一時停止中に撮影する。

- 静止画は、メニューの「静止画記録」で記録先として選んだメモリーに記録されます。
- デジタルエフェクト実行中やテジタルズームを使用しているときは、同時記録できません。

明るさの調整のしかたを選ぶ

通常、カメラは被写体に当たる光を自動的に測って、撮影する明るさを決めます。夕闇に映し出されたタワーを画面の中央におさめて、きれいに撮るときには「中央部重点平均測光」を使います。被写体に応じて、光の測定方法を選択できます。撮影モードが **P**、**Tv**、**Av**、シネマモードのときに選択できます。

1 押す

2 測光のしかたを選ぶ

❶ 上下に押して⊡を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

評価測光	ふだんの撮影のときに適している。画面内を分割して測光する。被写体の位置や明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の要素を本機が判断し、被写体を常に適正な明るさにする。
中央部重点平均測光	画面全体の明るさのバランスをとりながら、中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光する。
スポット測光	画面中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の枠([ ])内を測光する。

3 押す

順番に再生する ビデオ 写真

音楽と一緒に静止画を順番に再生します。テレビにつないで家族や友人と見るときなどに便利です。音を出さないで再生することもできます。

撮る 見る

■ 音楽を選ぶ

1 インデックス画面を出す

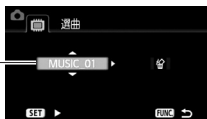
- インデックス画面が表示されているときは、操作1は不要。

2 押す

3 選曲する

❶ 左右に押して ♫（選曲）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して曲を選ぶ。

- SET を押すと試聴できる。もう一度押すと停止する。

音楽を再生しないとき

「切」を選ぶ。

曲を消すとき

❶ ❷の後に右に押して 🗑 を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

4 2回押す

■ 再生する

1 静止画を選ぶ

- スライドショーを始める静止画を選ぶ。

2 押す

- スライドショーと音楽の再生が始まる。

音の大きさを変えるとき

ジョイスティックを左右に押す。

- 操作案内が出ていないときは上に押す。

スライドショーを止めるとき

■(停止)ボタンを押す。

- 音楽と一緒に再生するときは、静止画と音楽を同じメモリーに保存してください。詳しくはImageMixer 3のMusic Transfer Utility取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使って本機に音楽を転送するときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつないでからパソコンに接続してください。
- カードの読み取り速度が遅いと音楽が正常に再生されないことがあります。

写真を回転して再生する

ビデオ 写真

再生中の静止画を時計回りに90度ずつ回転します。

撮る 見る

1 静止画を選ぶ

- 静止画の1枚表示画面で回転する静止画を選ぶ。

2 押す

3 回転を選ぶ

❶ 左右に押して（回転）を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押す。

- 押すたびに90度ずつ回転する。

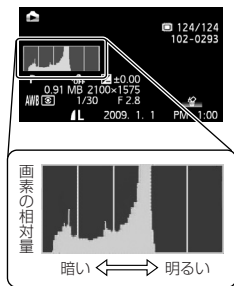
4 2回押す

写真の明るさを図で確認する

撮影した静止画の明るさを確認して、撮影するときの明るさの目安にしましょう。この明るさの図を「ヒストグラム」といいます。画素の相対量が図の右側に多いと明るく、左側に多いと暗いことを表しています。ヒストグラムの表示は、DISP.ボタンを押して消せます。

撮る 見る

1 再生中に押す

- 押すたびに表示が切り換わる。

表示の切り換わりかた

ヒストグラムなどのすべての表示	→	記録枚数、日時、画質などの表示	→	表示なし

- ヒストグラムは静止画記録モード時、メニューで設定した静止画確認時間中にも表示されます。（DISP.ボタンを押して、画面表示を消している場合を除く）

写真でも使える便利機能

静止画記録時でも、動画のときと同じようにズームやセルフタイマーを使ったり、明るさを調整したりできます。

46 拡大して撮る

ズーム

光学ズームによって15倍まで拡大して撮影(望遠撮影)できます。

48 すばやく撮影をはじめる

クイックスタート

液晶画面を閉じると省エネ状態で待機します。再び開くと、約1秒で撮影可能状態に戻ります。

72 場面に合わせて撮る

スペシャルシーンモード(SCN)

海に沈む夕日や夜空を彩る打上げ花火など、場面に合わせてきれいに撮影します。

76 動きの速いものを撮る 背景をぼかして撮る

シャッタースピード/しぼり

被写体に合わせてシャッタースピードやしぼり値を調整できます。

80 暗いところで撮る

ミニビデオライト

暗いところで撮影する場合、ミニビデオライトを使って被写体を明るく撮影できます。

87 セルフタイマーを使う

PHOTOボタンを押してから約10秒後に撮影されます。自分自身を撮影するときなどに便利です。

89 明るさを調整する

露出

強い光が被写体に当たるときなどに明るさを調整します。

93 顔のピントや明るさを自動で調整する

フェイスキャッチ

人物の顔を検出して、自動的にピントや明るさを調整します。

98 好みの画質にする

画質効果

コントラストを付けたり、輪郭の強調を抑えたりして撮影します。

113 メニューの設定を変える

さまざまな機能がメニューから設定できます。

91 ピントを合わせる

フォーカス

夜景など自動でピントが合いにくい被写体を撮影するときは手動でピントを調整します。

95 色合いを調整する

ホワイトバランス

撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色調整することができます。

100 場面の切り換えと特殊効果

デジタルエフェクト

シロクロやセピア色にして、思い出の静止画にひと工夫加えることができます。

映像を写真として切りとる

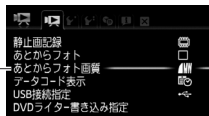
撮影した映像から、気に入った一場面を静止画として切りとれます。コマ送りをしながら静止画を連続して記録することもできます。記録される静止画サイズは1920×1080になり、画質は3種類から選べます。

撮る 見る

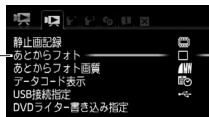
1 押す

2 静止画の画質を選べ

❶ (メニュー)→ →「あとからフォト画質」を選ぶ→ SET を押す。

❷ いずれかを選ぶ→ SET を押す。

3 切りとりかたを選ぶ

❶「あとからフォト」を選ぶ→ SET を押す。

❷「単写」または「連写」を選ぶ→ SET を押す。

4 押す

5 押す

- 再生が始まる。
- 切りとりたい場面でもう一度押して、再生一時停止にする。

6 「単写」を選んだとき
深く押す

「連写」を選んだとき
深く押しつづける

- コマ送りをしながら静止画が記録される。

MEMO

- 動画を撮影したときの日付や時刻が、静止画の撮影日時として設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、メニューの「静止画記録」で記録先として選んだメモリーに記録されます。

連写のとき

- 最大100枚まで記録できます。
- 連写中、次のシーンに切り換わると連写が止まります。
- 約1/30秒ごとにコマ送りをしながら記録します。メニューの「フレームレート」を「PF24」に設定して撮影した動画の場合は、約1/24秒ごとのコマ送りになります。

写真を保護する

ビデオ
写 真

大切な静止画を誤って消さないように保護します。

撮る 見る

■ 1枚の静止画を再生中に保護する

1 静止画を選ぶ

2 押す

3 プロテクトを選ぶ

❶ 左右に押して（静止画プロテクト）を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押す。

● が出る。

他の静止画を保護するとき

左右に押して、SET を押す。

設定を解除するとき

もう一度 SET を押す。

4 2回押す

■ 選んだ静止画をまとめて保護する

あらかじめ選んでおいた静止画や、その場で選んだ静止画を保護します。静止画の保護をすべて解除することもできます。

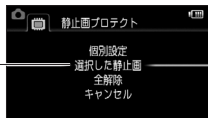
1 「選択」で静止画を選ぶ（□ 63）

2 押す

3 プロテクトを選ぶ

❶ 左右に押して O‒π（静止画プロテクト）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「選択した静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

❹ SET（OK）を押す。

「個別設定」を選んだとき

170ページの操作3 ❷〜操作4を行って終了する。

- 静止画の1枚表示画面で保護できる。

静止画の保護をすべて解除するとき

❶ 操作3の❷で「全解除」を押す→ (SET) を押す。

❷ 「はい」を押す→ (SET) を押す。

❸ (SET) (OK) を押す。

4 押す

● プロテクト設定をしても、メモリーを初期化するとすべてのデータは消えます。

写真をコピーする

ビデオ
写真

静止画を内蔵メモリーからカードにのみコピーできます。動画のコピーについては139ページをご覧ください。

撮る 見る

■ 1枚の静止画を再生中にコピーする

1 内蔵メモリーの静止画を選ぶ

2 押す

3 コピーする

❶ 左右に押して（コピー[→]）を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押して、「はい」を選ぶ→ SET を押す。

4 2回押す

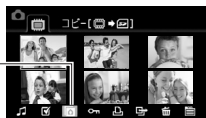
■ 1枚の静止画、選んだ静止画、すべての静止画をまとめてコピーする

1枚の静止画、あらかじめ選んでおいた静止画、またはすべての静止画をまとめてコピーできます。

1 内蔵メモリーのインデックス画面で静止画を選ぶ

- あらかじめ選んだ静止画をコピーする場合は、「選択」で選ぶ（📖 63）。
- すべての静止画をコピーするときは操作1は不要。

2 押す

3 コピーを選ぶ

❶ 左右に押して 📷（コピー［内蔵メモリー➡SD］）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「全ての静止画」、「1枚」または「選択した静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET（中止）を押す。「1枚」以外を選んだときは操作を中止できる。

❹ SET（OK）を押す。

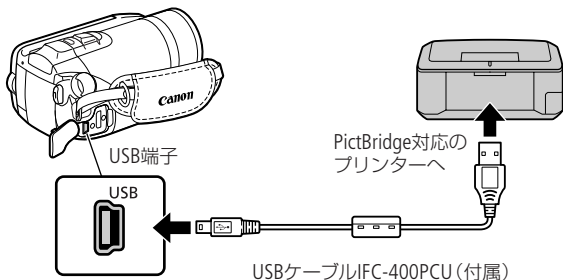
4 押す

- ACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - 撮影ダイヤルを切り換えない。
  - 🎥⇆▶ ボタンを押さない。

- カードの空き容量が足りない場合、コピーは中断されます。
- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているときはコピーできません。
- 他機で記録した静止画は正しくコピーできないことがあります。

写真を印刷する

本機に直接、別売のPictBridge対応プリンターを接続して、パソコンなしで簡単な操作で印刷できます。印刷指定すると連続で印刷できます（📖 184）。キヤノン製プリンターでは、PictBridge対応のSELPHY CP／ES／DSシリーズやPIXUSシリーズを使用できます。

■ プリンターとつなぐ PictBridge

撮る **見る**

1 本機 静止画見るモードにする

- インデックス画面が表示されている場合は、ズームレバーをT側に押して1枚の静止画を表示する。

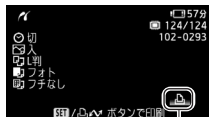
2 プリンター 電源を入れる

3 本機とプリンターをつなぐ

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコンなど」を選ぶ→ (SET) を押す。

- 本機の画面に ⭠ が点滅した後、 が出る。
- ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に出る。
- が出る。

57分
124/124
102-0293
切
入
L判
フォト
フチなし
SET/ ボタンで印刷

- 操作3で が約1分以上点滅し続ける場合、または が出ない場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してからつないでください。
- すべての静止画の消去中や印刷指定／送信指定の全解除中は、プリンターにつないでも認識されません。

- 印刷できない静止画のときは が表示されます。
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- プリンターの説明書もあわせてご覧ください。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコンなど」にすると、プリンターとつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。
- 2500枚以上の静止画があるときは、PictBridge対応プリンターに接続できません。
- プリンター接続時は、静止画を100枚以下にすると快適に操作できます。

■ 簡単に1枚印刷する

再生中の静止画をそのまま1枚印刷するときは、 ボタンを押すだけで印刷できます。

撮る 見る

1 再生中に印刷する静止画を選ぶ

2 押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると1枚表示画面に戻る。
- 印刷中は ボタンが点滅し､終了すると点灯。

続けてほかの静止画を印刷するとき

ジョイスティックを左右に押して静止画を選ぶ。

■ 用紙や枚数などを選んで印刷する

写真

5 印刷する

撮る 見る

1 上に押す

- 操作案内が出る。

2 ⎙ を選び、SET を押す

- 印刷設定画面が出る。

3 設定する項目を選び、SET を押す

用紙設定 用紙サイズ	プリンターによって異なります。
用紙タイプ	フォト、高級フォト、標準設定、普通紙
レイアウト	フチなし*1、フチあり、2／4／8／9／16面配置、標準設定
（日付印刷）	入、切、標準設定
（画像補正-イメージオプティマイズ）*2	入、切、VIVID*3、NR*3、VIVID+NR*3、標準設定
（印刷枚数）	1～99枚

*1 撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右をカットして印刷されることがある。
*2 画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターを使うときのみ。
*3 キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズをお使いの場合のみ。

4 設定内容を選び、SET を押す

5 「印刷」を選び、SET を押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると1枚表示画面に戻る。

続けてほかの静止画を印刷するとき

左右に押して静止画を選ぶ。

印刷を中止するとき

印刷中に SET（中止）を押す。確認画面が出たら、「OK」を選び、SET を押す。

印刷が終了したとき

1. USBケーブルを本機とプリンターから抜く。
2. 本機の電源を切る。

印刷中に異常が発生したとき

「用紙がありません」／「用紙が詰まりました」（📖 235）、「インクがありません」（📖 233）などのお知らせ表示が本機の画面に出るので、トラブルを解決する。

キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合

以下のいずれかの操作をする。

- ジョイスティックで「続行」を選んで SET を押す。
- 「中止」を選んで SET を押して印刷し直す。

上記操作をしても再開しない場合

USBケーブルを抜き差しした後、本機の電源を入れ直す。

- 他機で記録や作成・加工したり、ファイル名を変更したりした静止画は、PictBridge対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
- 本機とプリンターをつないでいるときに「処理中...」が長時間表示される場合、USBケーブルを一度抜き、つなぎ直してください。

- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。

「用紙設定」の「レイアウト」で設定できる配置（キヤノン製プリンター）

	カード	L判	はがき	A4
PIXUS/SELPHY DSシリーズ	–	–	2/4/9/16面配置*1	4面配置
SELPHY ES/CP*2 シリーズ	2/4/8面配置*3	2/4面配置	2/4面配置	–

*1 専用のシール紙にも印刷可能

*2 SELPHY CPシリーズの場合は、ワイド用紙を使用して「標準設定」を選ぶと、2／4面配置ができます。

*3 8面配置のとき専用のシール紙にも印刷可能（SELPHY CPシリーズのみ）

印刷する範囲を選ぶ

ビデオ
写真

用紙設定などの印刷設定（ □ 178）を行った後に、トリミングを設定します。トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。

撮る 見る

1 トリミングを選ぶ

「トリミング」を選ぶ → SET を押す。

- 緑の枠が出る。

2 W側またはT側に押す

- 印刷される枠の大きさが変わる。

縦長と横長を切り換えるとき

SET を押す。

トリミングを解除するとき

枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に押す。

3 上下左右に押す

- 枠が移動する。

4 押す

- トリミングが設定され、印刷設定画面の静止画に緑の枠が出る。
- 印刷するときは180ページの操作5をご覧ください。

トリミングの設定が解除される場合

- 本機の電源を切って接続ケーブルを抜いたとき。
- トリミングの枠を、最大より大きくしたとき。
- 用紙サイズを変えたとき。

- 他機から取り込んだ静止画はトリミングできないことがあります。

印刷する写真を選ぶ ビデオ 写真

印刷したい静止画と枚数を指定できます。998枚までの静止画に印刷指定できます。PictBridge対応のプリンターで自動印刷できます。本機にUSBケーブルをつなぐ前に、操作をしてください。

■ 1枚の静止画を再生中に印刷指定する

撮る 見る

1 静止画を選ぶ

2 押す

3 印刷指定する

❶ 左右に押して (印刷指定)を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押す。

● 枚数がオレンジ色になる。

❸ 上下に押して枚数を選ぶ→ SET を押す。

印刷指定を解除するとき

枚数を「0」にする。

他の静止画を指定するとき

左右に押して静止画を選び、❶ ❷の操作を行う。

4 2回押す

■ 選んだ静止画をまとめて印刷指定する

あらかじめ選んでおいた静止画を印刷指定します。静止画の印刷枚数は自動的に1枚に設定されます。また、その場で選んだ静止画を印刷指定することや、静止画の印刷指定をすべて解除することもできます。

撮る 見る

1 「選択」で静止画を選ぶ（□ 63）

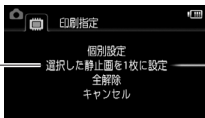
2 押す

3 印刷指定を選ぶ

❶ 左右に押して 🖶（印刷指定）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「選択した静止画を1枚に設定」を選ぶ→ SET を押す。

印刷指定
個別設定
選択した静止画を1枚に設定
全解除
キャンセル

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

❹ SET（OK）を押す。

「個別設定」を選んだとき

184ページの操作3 ❷〜操作4を行って終了する。

- 静止画の1枚表示画面で印刷指定できる。

印刷指定をすべて解除するとき

❶ ❷で「全解除」を押す→ SET を押す。

❷ 「はい」を押す→ SET を押す。

❸ SET (OK)を押す。

4 押す

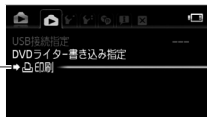
■ 印刷する

撮る 見る

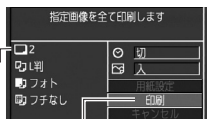
1 本機とプリンターをつなぐ（□ 176）

2 押す

3 印刷を選ぶ

(メニュー)→ [▶] →
「➡ 印刷」を選ぶ
→ (SET) を押す。

- 印刷設定画面が出る。
- 印刷指定をしていないときは、「 印刷指定が必要です」が出る。

4 印刷する

- 印刷指定による全印刷枚数が出る。

「印刷」を選ぶ→ (SET) を押す。

- 印刷が始まり、終了すると1枚表示画面に戻る。

MEMO

印刷を中止するとき（ □ 180）

印刷を再開するとき

- FUNC.ボタンを押し、 (メニュー)→ [▶] →「➡ 印刷」を選びます。印刷設定画面から「印刷」(1枚目で中断したとき)または「再開」(2枚目以降で中断したとき)を選び、 (SET) を押すと、残りの静止画を印刷できます。
- 印刷を再開する前に印刷指定を変更したり、印刷指定をした静止画を消した場合は再開されません。

- 接続するプリンターによっては、操作3の後に、用紙設定などの印刷設定ができます(□ 178)。

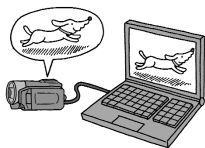
Chapter

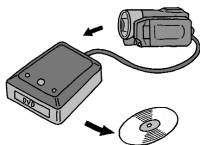
4

保存

映像をバックアップする

撮影した映像は内蔵メモリーやカードに記録されます。万一に備えてパソコンに保存しましょう。

■ パソコンに保存する

ImageMixer 3（付属）を使うと、パソコンに映像を保存できます。パソコンに保存した映像を本機に書き戻したり、ImageMixer 3のアルバムに整理することもできます。詳しくはImageMixer 3のDisc 1に入っている取扱説明書をご覧ください。

■ DVDやビデオ機器などに保存する

- DVDライターDW-100（別売）を使用してDVDに保存*（📖 191）。
- ビデオ機器、DVD／HDD機器にダビングして保存（📖 199）。

* MXPモードのシーンを除く。

- パソコンに接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- パソコンに保存した映像を本機に書き戻すときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつないでからパソコンに接続してください。
- パソコンに保存した映像を本機に書き戻しているときは、USBケーブルを抜いたり、本機やパソコンの電源を切ったりしないでください。本機に再生できないシーンが残ることがあります。
- 本機に接続したパソコンから本機のメモリー内のフォルダーやファイルを直接操作すると、記録したデータが破損する恐れがあります。映像データをパソコンに保存したり、本機に書き戻したりするときは、付属のImageMixer 3を使って行ってください。

ハイビジョンDVD/フォトDVDを作る

DVDライターDW-100（別売）を使って、大切な映像をハイビジョン画質（AVCHD規格）のままディスクに保存できます。また、本機で撮った静止画をDVDに保存することもできます（フォトDVD）。プレイリスト内の動画も保存できます。ディスクの取り扱い上のご注意やDVDライターの操作については、DVDライターの説明書をご覧ください。

撮る 見る

■ 本機の準備をする

1 コンパクトパワーアダプターをつなぐ

2 動画見るモードにする

フォトDVDを作るとき

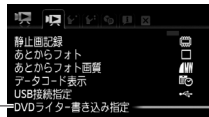
静止画見るモードにする

3 保存するデータがある画面に切り換える

- 内蔵メモリーまたはカードのインデックス画面に切り換える。
- フォトDVDは、静止画を1枚表示している画面で操作することもできる。

4 保存するデータを指定する

❶ FUNC.ボタンを押す。

❷ （メニュー）→ または →「DVDライター書き込み指定」を選ぶ→ を押す。

❸ いずれかを選ぶ→ を押す。

動画:	全シーン	すべてのシーン。
	未作成シーン	DVDに保存したことがないシーン。
	プレイリスト	プレイリスト内のすべてのシーン。
静止画:	全ての静止画	すべての静止画。
	送信指定静止画	送信指定をした静止画（ 206）。

* 現在インデックス画面に表示しているメモリーのシーンや静止画について指定します。

- MXPモードのシーンは保存できない。MXPモードのシーンがあるときは、それ以外のシーンのみプレイリストに登録し、ここで「プレイリスト」を選ぶ。

❹ FUNC.ボタンを押す。

保存

■ DVDに保存する

1 DVDライター 電源を入れる

参考 ▶ DVDライター使用説明書の「DVDを作成する」

2 本機とDVDライターを接続する

参考 ▶ DVDライター使用説明書の「接続する」

- 接続準備のあと、「ディスクがありません」が出る。

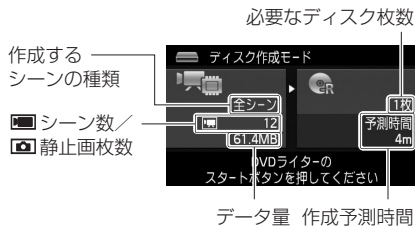
「接続機器を選択してください」が出たとき

「DVDライター」を選ぶ→ SET を押す。

3 DVDライター 未使用のディスクを入れる

❶ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを開く。

❷ 未使用のディスクを入れる。

❸ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

「使用済み-RWディスクです」が出たとき

上書きするときは (SET) を押す→「はい」を選ぶ
→ (SET) を押す。

- 上書きすると記録されていたデータはすべて消去されます。

4 DVDライター スタートボタンを押す

- 本機の画面に書き込み状況が出る。
- スタートボタンを押してディスクの作成を開始した後は中止できません。
- 「終了しました」が出たらディスクを取り出してトレイを閉める。

「未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉じてください」が出たとき

1. 未使用のディスクを入れる。
2. OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

同じディスクをもう1枚作るとき

未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉める。

作成したディスクを他機で再生する場合

	AVCHD規格対応 DVDプレーヤーまたは ブルーレイディスクプレーヤー	AVCHD規格 非 対 応 プレーヤー
FXP/XP+/SP/LP モードの映像を 保存したDVD	◯ 再生できる	× 再生できない

ご注意：×が付いているプレーヤーにディスクを入れないでください。取り出せなくなることがあります。

- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのACCESSランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やDVDライターの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。

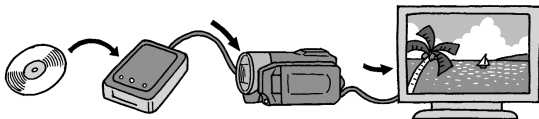
MEMO

- 1枚のディスクに入りきらないシーンは、シーンの途中から次のディスクに保存される場合があります。
- 保存するシーン数が多いと、193ページの操作2の接続準備に時間がかかることがあります。保存するシーン数は500シーン以内をおすすめします。その場合、接続準備にかかる時間は約3分以内です。
- ディスクに静止画を保存すると、自動的にフォトムービーも作成されます。フォトムービーでは静止画が3秒ごとにスライドショーとして再生されます。

ハイビジョンDVD/フォトDVDを見る

DVDに保存したハイビジョンの映像やフォトムービー、静止画などを再生します。

■ ハイビジョン映像のDVDを見る

本機とDVDライターDW-100（別売）を使って、DW-100で作成したハイビジョン映像のディスクを再生できます。ハイビジョンテレビにつないで、高精細な映像をお楽しみください。本書とDVDライターの説明書をあわせてご覧ください。

＊ 本機とテレビの接続については、67ページをご覧ください。

保存

撮る 見る

1 本機とテレビを接続する

2 本機 動画見るモードにする

3 DVDライター 電源を入れて「再生モード」に切り換える

参考 ▶ DVDライター使用説明書の「DVDを再生する」

4 本機とDVDライターを接続する

参考 ▶ DVDライター使用説明書の「接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「DVDライター」を選ぶ→ SET を押す。

5 DVDライター ディスクを入れる

- ディスクの内容がインデックス画面に出る。

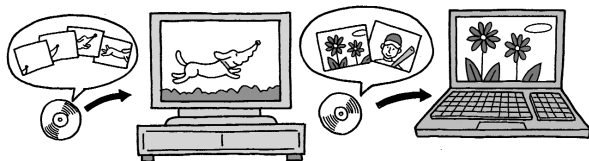
6 本機 見たいシーンを再生する

- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。

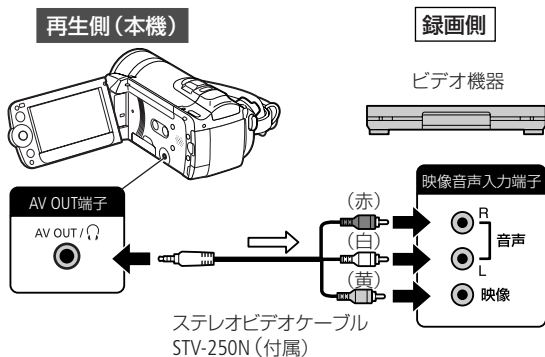
- DVDライターと接続中は、メニューやFUNC.メニューは使用できません。
- 約60倍の早送り/早戻し以外の再生機能が使用できます（ 54）。

■ フォトDVDを見る

DVDに保存したフォトムービーは、DVD-Video規格に対応したDVDプレーヤーやDVDレコーダーで再生できます。また、静止画はパソコンで見ることができます。なお、フォトムービーはAVCHD規格ではありません。

MEMO ● フォトDVDは、DVDライターDW-100では再生できません。

ほかのビデオ機器へ録画する

本機で撮った動画を映像／音声端子付きのビデオ機器にダビングできます。ハイビジョンで記録した動画は、標準画質でダビングされます。

■ 接続する

■ 操作する

撮る 見る

1 本機 動画見るモードにする

2 メニューの設定を確認する

- メニューの「AV/ヘッドホン」が「AV」になっていることを確認する（📖 123）。

3 録画機 録画一時停止状態にする

4 本機 再生を始めるシーンを選ぶ

5 本機 を押す

- 再生が始まる。
- 本機に表示される日時やカメラデータを入れて録画できる。DISP.ボタンを押すたびに、表示が切り換わる（□ 103）。

6 録画機 録画を開始する場面で、録画を始める

7 録画機 録画を終える

8 本機 押す

- 再生が終わる。

MEMO

- 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせず録画できます。
- 他機へのハイビジョン画質でのダビングについては、お使いの機器の説明書またはホームページなどをご覧ください。

保存

パソコンに写真を取り込む

ビデオ
写真

付属のUSBケーブルとDigital Video Softwareを使うと、ボタンを押すだけで、簡単に静止画をパソコンに転送できます。

■ 準備する

はじめてビデオカメラをパソコンにつなぐときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

撮る 見る

1 パソコン Digital Video Softwareをインストールする

参考 ▸ DIGITAL VIDEO Solution Diskスタートガイド

2 本機 静止画見るモードにする

3 本機 取り込む静止画の画面に切り換える

❶ ズームレバーを左に押す。
❷ 内蔵メモリーまたはカードのインデックス画面に切り換える。

4 本機とパソコンをつなぐ

参考 ▸ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコンなど」を選ぶ→ SET を押す。

Windowsのとき

CameraWindowが自動で起動するようにパソコンで設定する。

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「CameraWindowを起動する」

Macintoshのとき

CameraWindowが自動で表示される。

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「パソコンに画像を取り込む」

- ビデオカメラの画面にダイレクト転送メニューが出て、⎙∿ ボタンが点灯。

保存

- パソコンに接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、静止画は必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。
- 本機のACCESSランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データが破損することがあります。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
  - 撮影ダイヤルや ▶ ボタンを操作しない。

- すべての静止画の消去中や印刷指定／送信指定の全解除中は、パソコンにつないでも認識されません。

- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- Windows Vista、XPとMac OS Xをお使いの場合、付属のDigital Video Softwareをインストールしなくても、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで静止画をパソコンに取り込めます。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコンなど」にすると、パソコンとつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。
- 内蔵メモリーまたはカードに2500枚以上（Windows）/1000枚以上（Macintosh）の静止画があると、パソコンに取り込めないことがあります。その場合はカードリーダーなどをお使いください。内蔵メモリーの場合はカードに静止画をコピーしてから行ってください。
- 動画見るモードでパソコンに接続すると、自動的にサムネイルの作成が始まります。その場合は以下の操作を行ってください。

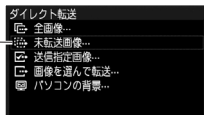
  ① 本 機 「サムネイル作成中」の画面が表示されたら、SET（スキップ）を押す。

  ② パソコン 安全な取りはずしを行い、USBケーブルを抜く。

  ③ 本 機 静止画見るモードに切り換え、パソコンと接続する。

■ 静止画を転送する

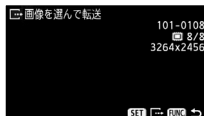
1 転送方法を選ぶ

転送方法を選ぶ。

全画像	すべての静止画。
未転送画像	まだ転送していない静止画。
送信指定画像	送信指定した静止画（ 206）。
画像を選んで転送	静止画を選んで転送。
パソコンの背景	パソコンのデスクトップの背景にする静止画。

「画像を選んで転送」「パソコンの背景」のとき

❶ SET を押す。

❷ 静止画を選ぶ。

保存

2 押す

- 全画像、未転送画像、送信指定画像の場合、転送された静止画がパソコンの画面に出る。転送を中止するときは、 SET （キャンセル）を押す。
- 「画像を選んで転送」の場合は転送された静止画がパソコンの画面に出る。
- 「画像を選んで転送」、「パソコンの背景」の場合、他の静止画を選ぶときは操作1の❷～操作2を繰り返す。
- 「画像を選んで転送」、「パソコンの背景」の場合、転送中は ボタンが点滅する。
- FUNC.ボタンを押すと、操作1の画面に戻る。

- ビデオカメラとパソコンをつないだときに、静止画を選ぶ画面が出た場合は、FUNC.ボタンを押してください。ダイレクト転送メニューになります。

パソコンに送る写真を選ぶ

パソコンに転送する静止画を指定できます。998枚までの静止画に送信指定できます。本機とパソコンを接続する前に操作してください。

撮る 見る

■ 1枚の静止画を再生中に送信指定する

1 静止画を選ぶ

2 押す

3 送信指定を選ぶ

❶ 左右に押して（送信指定）を選ぶ→ SET を押す。

❷ SET を押す。

- ☑ が出る。

他の静止画を送信指定するとき

左右に押して、SET を押す。

設定を解除するとき

もう一度 SET を押す。

4 2回押す

- 送信指定した静止画をパソコンに転送する場合は、201ページをご覧ください。

保存

■ 選んだ静止画をまとめて送信指定する

あらかじめ選んでおいた静止画や、その場で選んだ静止画を送信指定します。静止画の送信指定をすべて解除することもできます。

1 「選択」で静止画を選ぶ（□ 63）

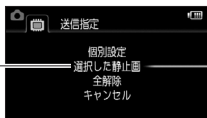
2 押す

- インデックス画面で押す。

3 送信指定を選ぶ

❶ 左右に押して（送信指定）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して「選択した静止画」を選ぶ → SET を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

❹ SET（OK）を押す。

「個別設定」を選んだとき

206ページの操作3 ❷～操作4を行って終了する。

- 静止画の1枚表示画面で送信指定できる。

静止画の送信指定をすべて解除するとき

❶ ❷で「全解除」を押す→ SET を押す。

❷ 「はい」を押す→ SET を押す。

❸ SET（OK）を押す。

4 押す

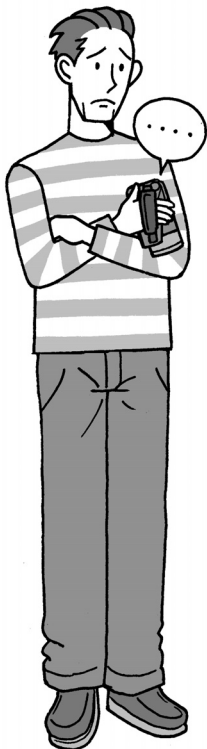
- 送信指定した静止画をパソコンに転送する場合は、201ページをご覧ください。

保存

Chapter 5 ふろく

Additional Information

故障かな?

修理に出す前にこの「故障かな?」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センターまたはご購入になった販売店にご相談ください。

まずココを確認しよう!

電源

□ バッテリーは充電されていますか?(□ 20)

□ 本機はコンパクトパワーアダプターで正しく接続されていますか?(□ 20)

撮影するとき

□ 電源を入れて撮るモードにしていますか?見るモードになっているときは ⇆ ボタンを押してください。

□ カードに記録する場合は、本機にカードが入っていますか?(□ 30)

再生するとき

□ 電源を入れて見るモードにしていますか?撮るモードになっているときは ⇆ ボタンを押してください。

□ カードから再生する場合は、本機にカードが入っていますか?(□ 30)

その他

□ 本機を振るとカタカタ音がするときは?撮るモードにして音がしなければ、内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

■ 電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	●バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ●バッテリーを正しく取り付け直す。	20
バッテリーが充電できない。	●電源を切ってから充電する。 ●バッテリーの温度が0℃未満になったかまたは40℃を超えている。0℃未満の場合はバッテリーを温めてから、40℃を超えた場合は放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ●周囲が0℃～40℃の温度のときに充電する。 ●バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ●本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、充電できない。	20
コンパクトパワーアダプターから音がする。	●コンパクトパワーアダプターを使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
長時間使うと熱くなる。	●長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	●バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

■ 撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 ● メモリーに空き容量がない。または3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。	— 34 65 151
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始/終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	91 251
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／●II撮影一時停止／▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	34 190 201
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	34 190 201

こんなときは	どうするの?	📖
静止画が記録できない。	●次の場合は動画撮影中に静止画を記録できない。 ・FUNC.メニューの「静止画記録」を「OFF 静止画記録切」に設定しているとき。 ・ズーム倍率がデジタルズーム領域のとき。 ・デジタルエフェクト実行中。	—

■ 再生中

こんなときは	どうするの?	📖
プレイリストに追加できない。	●プレイリストには999シーンまでしか追加できない。MXP/FXPモードとそれ以外のモードのシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。 ●他機で編集をしたシーンは追加できないことがある。 ●他機で記録したシーンや付属のImageMixer 3で編集して本機に書き戻したシーンは、プレイリストに追加できない。	—
シーンの消去ができない。	●他機で編集をしたシーンは消去できないことがある。	—
シーンの消去に時間がかかる。	●シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。	34 190 201

こんなときは	どうするの？	📖
静止画を消せない。	● 静止画のプロテクト設定を解除する。	170
音楽と映像を組合せて再生した場合、正しく再生できない。	● 動画と静止画をバックアップしてメモリーを初期化する。音楽を転送し、動画や静止画を書き戻す。	34 190 201

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で [バッテリー残量なし表示] が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	20
画面に [バッテリー？表示] が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
[SD] が赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。 ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、動画または静止画を消す。	31 34 30 65 151
[⚡] が赤く点滅する。	● 本機が故障している。カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	● 撮影したシーンをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—

ふろく

こんなときは	どうするの？	📖
画面に 🌡 が出る。	●撮影モードを「水中」または「水上」に設定しているときに、ビデオカメラが高温になった。電源を切って涼しい場所で冷ます。さらに高温になると、電源が自動的に切れることがある。	75
充電中にCHGランプが速く点滅する。	● ☀ ☀ ☀ ☀ ☀ （0.5秒に1回の点滅） コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
充電中にCHGランプがゆっくりと点滅する。	● ☀ ☀ （2秒ごとに1回の点滅） バッテリーの温度が0℃未満になったかまたは40℃を超えている。0℃未満の場合はバッテリーを温めてから、40℃を超えた場合は放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ●周囲の温度が0℃～40℃のときに充電する。 ●バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	20

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
液晶画面が暗い。	●バックライトが低輝度設定になっている。DISP.ボタンを約2秒以上押すと解除できる。	—
画面がついたり消えたりを繰り返す。	●バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ●バッテリーを正しく取り付け直す。	20

こんなときは	どうするの?	📖
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取りはずし、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しない場合は、電源を取りはずし、先のとがったものでRESET(リセット)ボタンを押す。すべての設定が解除される。	17
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	244
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。撮影モードを**Tv**にしているときは**P**に切り換えると軽減する。故障ではない。	—
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く(打上げ花火やコンサートなど)で撮影すると、音がひずんだり、実際より小さく記録されることがある。メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にするか、マイクレベルを手動で調整すると適切に録音できることがある。	104 119
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ステレオビデオケーブルをはずす。 ● メニューの「AV/ヘッドホン」を「AV」にする。	51 — 123

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	31
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画や静止画を消す。 ● はじめて使用するときは、カードを初期化する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 ● 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。 ● 静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「静止画番号」を「オートリセット」にする。 ● FUNC.メニューの「静止画記録」を「OFF 静止画記録切」に設定していると、ビデオを撮りながら同時に写真を記録できない。	30 65 151 34 32 30 128 —
リモコンが動作しない。	● メニューの「リモコンセンサー」を「入」にする。 ● リモコンの電池を交換する。	126 26

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用しているときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	—
再生しても、テレビに映像が出ない。	● テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	—
テレビで音声が出ない。	● D端子ケーブルでテレビにつないでいる場合は、音声を出力するためにステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。	69
HDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
HDMI機器制御機能が動作しない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機とテレビの電源を入れ直す。 ● 本機の「HDMI機器制御」が「切」になっているので、「入」にする。 ● テレビのHDMI機器制御機能が無効になっているので、有効にする。 ● テレビによってHDMI機器制御機能でできることが異なる。テレビの説明書をご覧ください。	— 127 — —
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコンなど」にする。 ● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。	122 —

こんなときは	どうするの？	📖
正しく接続しているのにプリンターが動作しない。	● メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコンなど」にする。 ● 接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直す。	122 —
正しく接続しているのにDVDライターが認識されない。	● メニューの「USB接続指定」が「パソコンなど」になっているときは、「接続時に選択」か「DVDライター」にする。	122

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。本機使用時、DVDライター接続時（📖 231）、プリンター接続時（📖 233）の3つの場合のメッセージについて説明しています。

■ 本機使用中に表示されるメッセージ

メッセージ	どんな意味？	📖
アクセスエラーです	● 内蔵メモリーまたはカードの書き込み中や読み込み中にエラーが発生した。 ● 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	—
🖨 印刷指定エラー	● 印刷指定の設定可能な静止画の枚数（998枚）を超えた。	—
カードカバーがあいています	● カードカバーが開いている。カードを入れたらカードカバーを閉じる。	31
カードがありません	● カードが本機に入っていない。	31
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画や静止画を消す。	65 151
カード シーン数がいっぱいです	● カードに3999シーン記録されているため、動画のコピーができない。カードの不要な動画を消す。	65
カードにアクセス中です カードを取り出さないでください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—

メッセージ	どんな意味？	📖
カード 認識できない記録方式です	● テレビ方式が異なる動画が記録されているカードを入れて、電源を入れた。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードに書き込めない。カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっていないか確認する。	32
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にして電源を入れると表示される。誤消去防止ツマミを反対側にする。	32
カード読み込み中です	● カードを読み込んでいる。	—
カードを確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。	31
	● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。	—
	● マルチメディアカードを入れた。本機が対応しているSD/SDHCメモリーカードを使用する。	—
	●「カードを確認してください」が4秒後に消えて [SD] が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。 [SD] が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。	31
	● 初期化をする。ただし初期化するとすべてのデータが消去される。	34

メッセージ	どんな意味？	📖
書き込みエラーがあります 他の機器で使用していなければ修復を推奨します メディアを修復しますか？	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「はい」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨する。	—
画像がありません	● 再生する静止画がない。	—
記録できません	● メモリーに異常があるため、記録できない。	—
記録できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、記録できない。	—
記録できません 内蔵メモリーにアクセスできません	● メモリーに異常があるため、記録できない。	—
このカードでは記録できない録画モードです	● SDスピードクラス2以下のカードには、MXP/FXPモードでは記録できない。他の録画モードにするか、クラス4または6のカードを使用する。	30
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードを入れた。クラス2、4または6のカードを使用する。	30
このカードは動画記録できません	● 64MB以下のカードには動画の記録ができない。	30

メッセージ	どんな意味？	📖
このカードは動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	34
このカードは動画再生できません	● 64MB以下のカードの動画は再生できない。	—
このカードは動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	34
コピーできません	● カードの空き容量がコピーするデータ量より小さい。カードの不要なシーンを消すか、コピーするシーンを減らす。 ● 記録可能なシーン数を超えた。不要なシーンを消す。	65 139
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● メモリーに異常があるため、再生できない。	—
再生できません カードを確認してください	● カードにエラーが発生した。	—

メッセージ	どんな意味？	📖
再生できません 内蔵メモリーにアクセスできません	●内蔵メモリーに異常があるため、再生できない。	—
シーンがありません	●表示するシーンがない。 ●顔ジャンプを行ったときに、フェイスキャッチ機能で顔を記録したシーンがなかった。	—
シーン数がいっぱいです	●記録可能なシーン数を超えた。不要なシーンを消す。 ●プレイリストには999までしか追加できない。不要なシーンを消す。	65
消去ができないシーンがありました	●他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。	—
処理中です 電源をはずさないでください	●内蔵メモリーまたはカードに書き込んでいるため、電源をはずさない。	—
処理を中止しました	●処理中に中止操作を行った。	—
水中（水上）モードです PHOTOボタンを押しながら電源を入れると、水中モードと水上モードが切り替わります	●撮影モードが「水中」または「水上」のときに電源を入れた。 ●一旦電源を切ったあと、PHOTOボタンを押しながら電源を入れると、「水中」と「水上」が切り換わる。	75

メッセージ	どんな意味？	📖
スタンバイに入れません	● バッテリー残量が少なくなっているときは、クイックスタート機能のスタンバイに入れない。	—
⚷ 静止画は消去できません ⚷ 静止画は消去できませんでした	● プロテクトされた静止画は消去できない。静止画のプロテクト設定を解除する。	170
静止画像が多すぎます　USBケーブルをぬいてください	● USBケーブルを抜いて、カードリーダーなどを使用して静止画をパソコンに移動するか、不要な静止画を消す。その後、USBケーブルを接続し直す（プリンターまたはWindowsのパソコンのとき：2500枚未満、Macintoshのとき：1000枚未満に）。 ● パソコンの場合、OSの設定によってはパソコンのモニターに画面が出ることがある。画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	— —
静止画モードです	● 撮影ダイヤルが 📷 になっているときにSTART/STOPボタンを押した。	40
送信指定エラー	● 送信指定できる枚数（998枚）を超えたので、枚数を減らす。	206
追加できないシーンがありました	● 他機で記録したシーンはプレイリストに追加できない。 ● MXP/FXP（録画モード）とそれ以外のシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。不要なシーンを消す。	65

メッセージ	どんな意味？	📖
追加できませんでした	● MXPモード、FXPモードまたはそれ以外のシーンが混在する場合は、999シーン追加できないことがある。不要なシーンを消す。	65
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。	—
デュアルショットでは使えません	● デュアルショットでは使えないボタンを押した。動画モードや静止画モードに切り換えるときは、撮影ダイヤルを 🎥 または 📷 に切り換える。	37
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	190 201
内蔵メモリーがいっぱいです	● 内蔵メモリーに空き容量がない。画面で「▣ END」が点灯。不要な動画を消す。	65
内蔵メモリーが認識できません	● 内蔵メモリーを認識できない。	—
内蔵メモリーから動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	34
内蔵メモリーにアクセスできません	● 内蔵メモリーに異常があるため、アクセスできない。	—

メッセージ	どんな意味？	📖
内蔵メモリーに動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● 内蔵メモリーがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	34
内蔵メモリー読み込み中です	● 内蔵メモリーを読み込んでいる。	—
認識できない記録方式です	● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。	—
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください コンパクトパワーアダプターを接続してください	● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取りはずしのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● コンパクトパワーアダプターをつないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、データの転送や書き戻しができる。	—

メッセージ	どんな意味？	📖
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください 書き込みできない接続方法です 書き込む場合はコンパクトパワーアダプターを接続してからUSBを接続しなおしてください	● コンパクトパワーアダプターをつながないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作や書き込みはできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取りはずしのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● 本機のメモリー内にデータを書き込む場合は、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、コンパクトパワーアダプターを接続してから、USBケーブルを接続しなおす。	—
バックライトが低輝度に設定されています	● 明るくするときは、DISP.ボタンを2秒以上押す。	29
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
バッテリーパックを取り替えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	20
バッファオーバーです 記録を中断しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。SDスピードクラス2、4または6のカードを使用する。	30

メッセージ	どんな意味？	📖
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号や静止画番号が最大になった。「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画をすべて消す。	34 128 151
プレイリスト登録数オーバーです 分割できません	● プレイリストに映像が999シーンあると、プレイリストに登録しているシーンを分割できない。プレイリストの不要なシーンを消す。	136
分割できません	● 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。動画と静止画をバックアップして、記録メモリーを初期化する。	34 190 201
分割できません 初期化が必要です		
編集できません	● プレイリストでシーンの移動ができなかった。	—
本機で記録したシーンではありません 分割できません	● 他機で記録したシーンは分割できない。	—
本機で記録したシーンではありません コピーできません	● 他機で記録したシーンはコピーできない。	—
本機で記録したシーンではないためコピーできないシーンがあります	● 他機で記録したシーンが含まれた動画はコピーできない。	—
本機で記録したシーンではありません 追加できませんでした	● 他機で記録したシーンはプレイリストに追加できない。	—

メッセージ	どんな意味？	🕮
本機で初期化してお使いください	● メモリーに異常があるためアクセスできない。内蔵メモリーまたはカードを本機で初期化する。	34
レンズカバーが開ききっていません 電源を入れなおしてください	● 動画や静止画の撮影開始時、レンズカバーが正常に開かなかった。電源を入れ直す。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
MXP/FXPのシーンがあるため、このカードへはコピーできません	● カードのSDスピードクラスが2以下のため、MXP/FXPモードの動画が記録できない。クラス4または6のカードを使用する。	30

■ DVDライター（別売）接続中に表示されるメッセージ

メッセージの対処方法についてはDVDライターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どんな意味？	📖
カードカバーを閉めてください	● カードカバーが開いている。カバーを閉じる。	31
コピーが中断されました	● USBケーブルがはずれたため、ディスクの作成を中断した。USBケーブルを確認する。 ● MXPモードのシーンは保存できない。MXPモード以外のシーンのみプレイリストに登録し、メニューの「DVDライター書き込み指定」を「プレイリスト」に設定して、保存する。	— 134 192
コンパクトパワーアダプターを接続してください	● 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ。	—
シーンがありません	● ディスクに保存できるシーンがビデオカメラにない。	—
静止画がありません	● ディスクに保存できる静止画がビデオカメラにない。	—
送信指定がありません	● 送信指定された静止画がビデオカメラにない。	—
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。	—

メッセージ	どんな意味？	📖
ディスクがありません	● ディスクを入れる。 ● 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	193 249
ディスクが認識できません ディスクを確認してください	● ディスク作成時に、8cmのディスクや市販のDVDソフトウェアなどを入れた。 ● ディスク再生時に、未使用のディスクや市販のDVDソフトウェアなどを入れた。	—
ディスク認識中です	● ディスクを読み込んでいる。	—
ディスクへのアクセスに失敗しました ディスクを確認してください	● ディスクの書き込み中または読み込み中にエラーが発生した。 ● 結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。 ● ディスクを取り出してから入れ直す。	— 249 —
ビデオカメラから読み出せません	● ビデオカメラからデータを読み出せない。 ● USBケーブルがはずれていないか確認する。	—
未作成シーンがありません	● ディスクにまだ保存していないシーンがビデオカメラにない。	—

■ プリンター接続中に表示されるメッセージ

メッセージの対処方法については、プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どんな意味？
インクエラー	● インクがない。インクを交換する。
インクがありません	● インクが正しく入っていない、またはインクがない。
インクが残りわずかです	● インクの交換時期が近づいている。「続行」を選ぶと、印刷を再開する。
インク吸収体が満杯です	● お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）に、インク吸収体の交換を依頼してください。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできません。
印刷エラー	● 「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。プリンターの状態を確認する。
印刷指定エラー	● 印刷指定の設定可能な静止画の枚数（998枚）を超えた。
印刷指定が必要です	● 内蔵メモリーまたはカード内に印刷指定をしている静止画がない。
印刷できない画像です	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。

メッセージ	どんな意味？
印刷できない画像が＊枚ありました	●他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を＊枚印刷指定して印刷しようとした。
サイズを選びなおしてください	●ビデオカメラとプリンターで用紙サイズの設定が異なっている。
紙間レバー位置が不正です	●紙間レバー位置を正しい位置に直す。
設定を確認してください	● 🖨 ボタンを使って印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっている。
通信エラー	●通信中にエラーが発生した。「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。🖨 ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。 ●大量の静止画が記録されたカードを使って印刷しようとした。静止画の枚数を減らす。
トリミングできない画像です	●本機以外で撮影した静止画では、トリミングできないことがある。
トリミングの再設定が必要です	●トリミングの設定後に「用紙設定」を変更した。
ハードウェアエラー	●「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 ●プリンターの状態を確認する。 ●インクに異常がある。インクを交換する。

メッセージ	どんな意味？
ファイルエラー	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。
プリンターカバーが開いてます	● プリンターのカバーを閉じる。
プリンタートラブル発生	● 修理が必要なエラーが起きている可能性がある。キヤノン製プリンターの場合、電源ランプ（緑色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に点滅する。USBケーブルを抜いた後、プリンターの電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
プリンターは使用中です	● プリンターが使用中。プリンターの状態を確認する。
プリントヘッド未装着	● プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良。
用紙エラー	● 用紙に異常がある。プリンターの用紙が正しく入っていないか、用紙サイズが間違っている。 ● 排紙トレイが閉じているときは、開ける。
用紙がありません	● プリンターに用紙が正しく入っていない、または用紙がない。
用紙が詰まりました	● 印刷中に用紙が詰まった。[中止]を選んで印刷を中止する。用紙を取り除き、用紙を入れ直してから再度印刷する。

MEMO **キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズについて**

- プリンターのエラーランプが点滅しているときや、操作パネルや接続したテレビにエラーメッセージが出ているときは、必ずプリンターの説明書でご確認ください。
- 本書やプリンターの説明書を参考に対処をしてもエラーメッセージが表示されるときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落としてこわした
- 内部に水や異物が入った

▶ **バッテリーをはずして、電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センターに問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容を示しています。

禁止

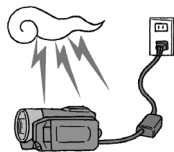
内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。

➤ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。 ➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 ➤ 感電

ぬらさない。 ➤ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用はとくに気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。

➤ 皮膚の傷害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

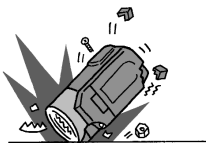
分解や改造をしない。

➤ 発熱 感電 火災 けが

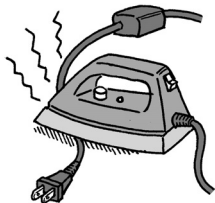
強い衝撃や振動を与えない。

➤ 火災 やけど けが

禁止

ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについてつぎのことを守る。

➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。

➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。➤ やけど けが

ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

禁止

充電中は長時間にわたる接触をしない。➤ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC／ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。

➤ 火災 感電 けが

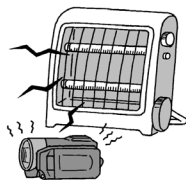
油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

➤ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入る恐れあり。

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。

➤ 火災 やけど けが

発熱や破裂の恐れあり。

禁止

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

不安定な場所に置かない。➤ けが

落下、転倒の恐れあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。

➤ 感電 けが

運転中に使用しない。

➤ 交通事故

強制

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

➤ 火災 感電

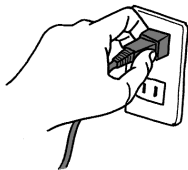
ふろく

強制

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。

➤ 火災 感電

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。

➤ けが 交通事故

⚠注意 傷害、物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。

➤ やけど

発熱の恐れあり。

禁止

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。

➤ 火災

内部に熱がこもる恐れあり。

フラッシュやミニビデオライトを目に近づけて発光しない。

➤ けが

目を傷める恐れあり。特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れる。

車の運転者に向けてフラッシュやミニビデオライトを使用しない。

➤ 交通事故

フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。

➤ やけど

強制

コード類は、つまづかないように配置する。➤ けが

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

バッテリー、リストストラップ、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが

バッテリーやテレコンバーター、ワイドコンバーターなどを取りはずすときは、落とさないように気をつける。

➤ けが

ふろく

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ➤ 火災

なるべくビデオカメラを固定して撮影する。

撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こす恐れがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休めてください。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

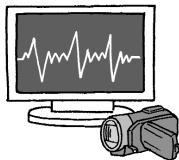
データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防塵構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

テレビの上などで使わない

プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。

太陽にレンズを向けない

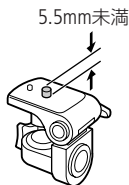
太陽や強いライトなどにレンズを向けると内部の部品が溶けることがあります。

液晶画面を...

つかんでもちあげない ➔ 液晶画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない ➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが5.5mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子(充電器の端子)の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されない場合があります。なお、表示は目安としてご使用ください。

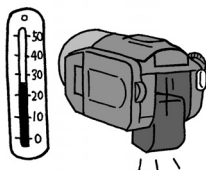
インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（📖 257）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャーCG-800（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取りはずし、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

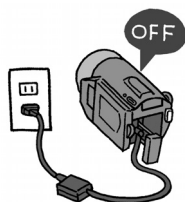
ていねいに扱う

落とす、濡らす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3ヶ月間使わないと完全に放電してしまいます。このときはつぎのようにして充電してください。

充電のしかた（所用時間：24時間）

①電源を切る
②本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ

■ その他のご注意

個人情報の流出に注意（譲渡・廃棄するときは）

内蔵メモリーやカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。

譲渡するときは

一度内蔵メモリーの完全初期化（□ 34）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、データの復元を困難にすることができます。

破棄するときは

内蔵メモリーやカードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

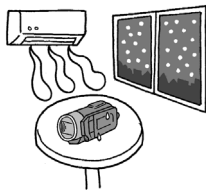
ふろく

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取りはずし、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ　http://www.jbrc.com

○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。

○ 被覆をはがさないでください。

○ 分解しないでください。

日常のお手入れ

本体がよごれたときは

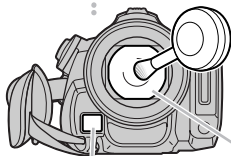
柔らかい布で拭こう

- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。

液晶画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。

自動でピントが合わない？

レンズやハイスピードAFセンサーが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

ハイスピードAFセンサー

市販の眼鏡クリーナ（布製）で拭きます。

レンズ

ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（AC100〜240V 50／60Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。
コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障する恐れがあります。

国や地域によって変換プラグが異なります

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A
メキシコ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
カナリア諸島	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米		プエルトリコ	A	クウェート	B. C	ザンビア	B. BF
アルゼンチン	BF. C. O	ブラジル	A. C	ヨルダン	B. BF	タンザニア	B. BF
コロンビア	A	ベネズエラ	A			南アフリカ共和国	B. C. BF
ジャマイカ	A	ペルー	A. C	●アフリカ			
チリ	B. C			アルジェリア	A. B.BF. C	モザンビーク	C
ハイチ	A	●中近東		エジプト	B. BF. C	モロッコ	C
パナマ	A	イスラエル	C	ギニア	C		
バハマ	A	イラン	C	ケニア	B. C		

■ テレビで見る

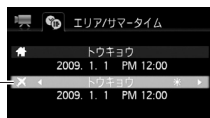
以下の国や地域では、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 大韓民国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NTSC方式を採用している国や地域　－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－）

■ 旅行先の日時に合わせる

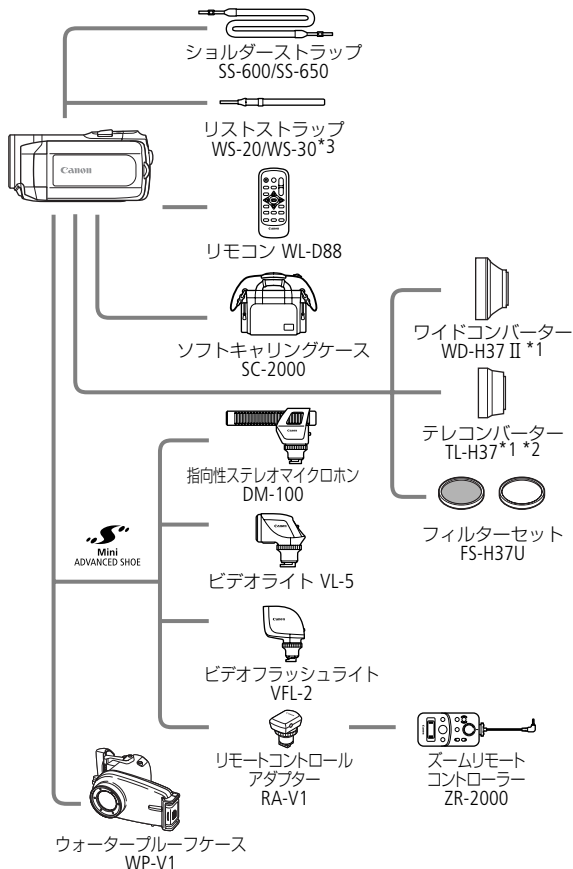
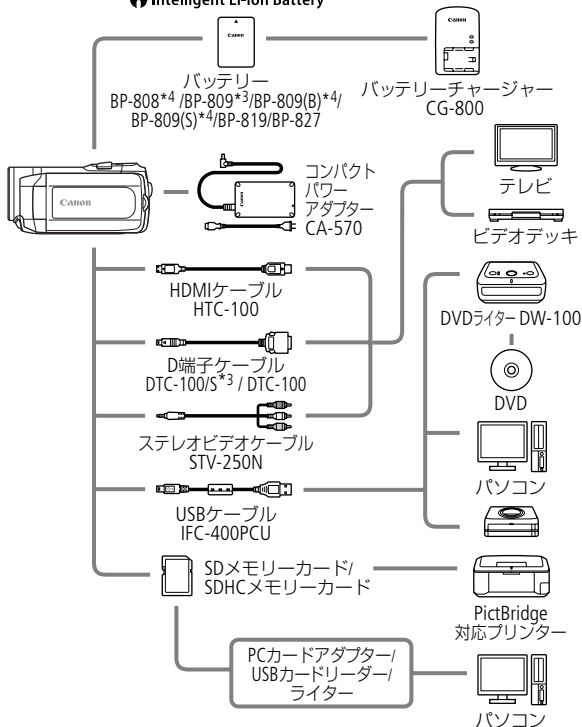
2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像に現地の日時を記録できます。

1. 「時計を合わせる」(🕮 27)の操作1〜操作3❷までを行う。
2. ジョイスティックを上下に押して、✗ の項目を選ぶ。
3. ジョイスティックを左右に押して、旅行先を選ぶ→ SET を押す。
   - 旅先がサマータイムの場合、☀ が表示されている項目を選ぶ。
4. 「時計を合わせる」(🕮 28)の操作4〜5を行う。

旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作2でジョイスティックを上下に押して、🏠 の項目を選ぶ。
2. FUNC.ボタンを押す。

ふろく

アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。

*1 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けて、ミニビデオライトやフラッシュを使用すると影が出ることがあります。

*2 テレコンバーターを使用した場合、ピントの合う距離はズームのT端で約2.3mとなります。

*3 本機の付属品です。別売していません。

*4 付属品とは形状・色が異なりますので、予め御了承ください。

- **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**
  本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
  なお、純正品以外のアクセサリーの不具合(例えばバッテリーの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは、本機の「ミニアドバンストシュー」には取り付けられません。本機には、右記のマークが表示されているミニアドバンストシュー対応アクセサリーをご利用ください。

- インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて
  バッテリーパックBP-809は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャーCG-800(別売)でのみ使用/充電できます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

FUNC.メニューの紹介

設定できる機能は、撮影ダイヤルの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。

撮影時に使うメニュー

機能	設定内容	動画	静止画	参照
撮影モード	**P（プログラムAE）**、Tv（シャッター優先AE）、Av（絞り優先AE）	●	●	76
	シネマモード	●		79
	SCN（ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチ、夕焼け、夜景、ローライト、スポット、打上げ花火、水中、水上）	●	●	72
測光	**評価測光**、中央部重点平均測光、スポット測光		●	160
ホワイトバランス	AWB **オート**、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H、セット	●	●	95
画質効果	**画質効果切**、くっきりカラー、すっきりカラー、ソフト、美肌、カスタム	●	●	98
D.エフェクト設定	**D.エフェクト切**、F1 オートフェード、F2 ワイプ、E1 シロクロ、E2 セピア、E3 アート	●		100
	D.エフェクト切、E1 シロクロ、E2 セピア		●	
ドライブモード	**単写**、連写、高速連写、AEB		●	156

機能	設定内容	動画	静止画	参照ページ
録画モード	**MXP** 高画質モード24Mbps、**FXP** 高画質モード17Mbps、**XP+** 高画質モード12Mbps、**SP** **標準モード7Mbps**、**LP** 長時間モード5Mbps	●		44
静止画記録	**静止画記録切**、**LW** 2304×1296、**SW** 848×480	●		158
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル	●		
静止画サイズ/画質	**LW** 2304×1296、**L** **2100×1575**、**M** 1600×1200、**S** 640×480		●	145
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル		●	

FUNC. メニューの紹介

再生時に使うメニュー

動画インデックス画面

機能	設定内容	📖
選択	個別設定、全解除、キャンセル	63
コピー[内蔵メモリー→SD]	全シーン、この日の全シーン、1シーン、 選択したシーン、キャンセル	139
プレイリスト追加	この日の全シーン、1 シーン、選択したシーン、 キャンセル	134
分割	ー	132
消去	全シーン、この日の全シーン、1シーン、 選択したシーン、キャンセル	65
シーン検索	カレンダー、日付選択、顔ジャンプ、キャンセル	57

動画プレイリスト画面

機能	設定内容	📖
選曲	MUSIC_01～XX、切	83
コピー[内蔵メモリー→SD]	いいえ、はい	139
移動	ー	137
消去	全シーン、1 シーン、キャンセル	136

ビデオスナップインデックス画面

機能	設定内容	📖
選曲	MUSIC_01～XX、切	83
選択	個別設定、全解除、キャンセル	63
コピー[➡]	全シーン、この日の全シーン、1シーン、選択したシーン、キャンセル	139
プレイリスト追加	この日の全シーン、1 シーン、選択したシーン、キャンセル	134
消去	全シーン、この日の全シーン、1シーン、選択したシーン、キャンセル	65
シーン検索	カレンダー、日付選択、キャンセル	57

ビデオスナッププレイリスト画面

機能	設定内容	📖
選曲	MUSIC_01～XX、切	83
コピー[➡]	いいえ、はい	139
移動	―	137
消去	全シーン、1シーン、キャンセル	136

静止画1枚表示画面

機能	設定内容	📖
コピー[内蔵メモリ➔SD]	いいえ、はい	173
静止画プロテクト	―	170
印刷指定	―	184
送信指定	―	206
回転	―	164
消去	いいえ、はい	151

静止画インデックス画面

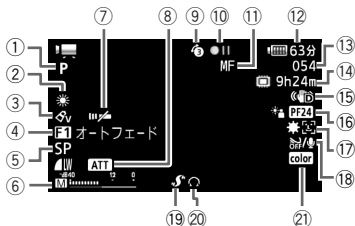
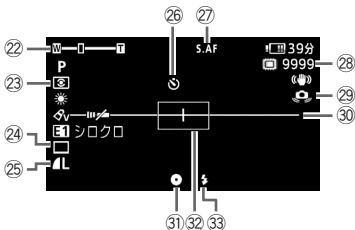
機能	設定内容	📖
選曲	MUSIC_01〜XX、切	162
選択	個別設定、全解除、キャンセル	63
コピー[内蔵メモリ➔SD]	全ての静止画、1枚、選択した静止画、キャンセル	174
静止画プロテクト	個別設定、選択した静止画、全解除、キャンセル	171
印刷指定	個別設定、選択した静止画を1枚に設定、全解除、キャンセル	185
送信指定	個別設定、選択した静止画、全解除、キャンセル	207
消去	全ての静止画、1枚、選択した静止画、キャンセル	151

- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューが終了します。

画面の見かた

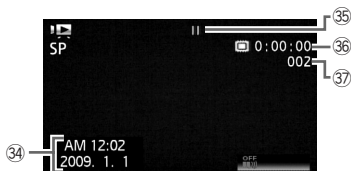
撮影中や再生中に表示される情報です。■ 内の数字は参照ページです。

■ 撮影のときの画面

動画のとき

① 撮影モード 72
② ホワイトバランス 95
③ 画質効果 98
④ デジタルエフェクト 100
⑤ 録画モード 44
⑥ レベルメーター 104
⑦ リモコンセンサー 126
⑧ マイクアッテネーター 119
⑨ プレREC 86
⑩ 撮影状況 265
⑪ フォーカス 91
⑫ バッテリー残量の目安 265
⑬ 撮影シーン数/撮影時間(時：分：秒)
⑭ 撮影可能時間 265
⑮ 手ブレ補正 118
⑯ 逆光補正 90/フレームレート 115

静止画のとき

⑰ ミニビデオライト 80/フェイスキャッチ 93
⑱ ウィンドカット 119
⑲ ミニアドバンストシュー 109
⑳ ヘッドホン 107
㉑ x.v.Color 116
㉒ ズーム 46
露出 ○━┃━○ 89
㉓ 測光 160
㉔ ドライブモード 156
㉕ 静止画画質/サイズ 145
㉖ セルフタイマー 87
㉗ ハイスピードAF 117
㉘ 静止画の記録可能枚数 265
㉙ 手ブレ警告 119
㉚ マーカー 120
㉛ ピント・露出の固定状態 142
㉜ AF枠 118
㉝ フラッシュ 154

■ 再生のときの画面

動画のとき

静止画のとき

㉞ データコード 103
㉟ 再生状況 265
㊱ 再生時間(時：分：秒)
㊲ 再生シーン番号
㊳ ヒストグラム 165
㊴ 撮影モード 72 /
画質効果 98 /
フラッシュ 154 /
露出 89
㊵ フォーカス 91 /
データ量/サイズ 145
㊶ ホワイトバランス 95 /
測光 160
シャッタースピード 76 /
しぼり数値 76
㊷ 表示枚数/全枚数
㊸ 静止画番号 128
㊹ 日時 27
㊺ 静止画プロテクト 170
㊻ 静止画画質/
サイズ 145

ふろく

⑩ 撮影状況/㉞ 再生状況
●：撮影 (録画)　●❚❚：撮影一時停止　▶：再生　❚❚：再生一時停止

▶▶：早送り　◀◀：早戻し　◀❙/❙▶：スロー再生

◀II/II▶：コマ送り/コマ戻し

⑭ 撮影可能時間
メモリーに空きがなくなると、「 END」または「 END」が点灯し、停止します。

⑫ バッテリー残量の目安

バッテリーの残量の目安をマークで、撮影または再生可能な時間を分で表示します。 が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

㉘ 静止画の記録可能枚数
枚数の緑色表示は残り6枚以上、黄色表示は残り1～5枚、赤色表示は0枚を示します。ただし、再生時はすべて緑色表示となります。記録可能枚数は記録時の状況により異なることがあります。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることがあります。

主な仕様

iVIS HF21 システム	
内蔵メモリー／カード記録	動画： AVCHD規格 映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch 静止画： DCF準拠、Exif Ver2.2準拠、DPOF対応 静止画圧縮方法：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）
信号方式	NTSC方式準拠、1080/60i方式*
記録メモリー	内蔵メモリー（容量：64GB）、SD／SDHCメモリーカード
録画／再生時間（🕮 45）	内蔵メモリー（MXP、FXP、XP+、SP、LP）： 約5時間55分、約8時間20分、約11時間30分、約19時間10分、約24時間30分 16GBメモリーカード（MXP、FXP、XP+、SP、LP）： 約1時間25分、約2時間5分、約2時間50分、約4時間45分、約6時間5分
撮像素子	1/4型CMOS、総画素数 約389万画素 有効画素 動画： 約299万画素 静止画（16:9）：約299万画素 静止画（4:3）： 約331万画素
液晶画面	2.7型TFTワイドカラー液晶（約21.1万ドット）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=4.1－61.5mm F=1.8－3.2 光学15倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 約39.5－592.5mm（動画/静止画共通）
レンズ構成	9群11枚、非球面レンズ1枚（2面）使用
焦点調整	TTL自動焦点（TTL＋外部測距：ハイスピードAF選択時）、マニュアル調整可
フィルター径	37mm
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート、（セット、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H 付）

* メニューの「フレームレート」を「PF24」または「PF30」に設定しているときは、60iに変換して記録します。

最低被写体照度	0.4ルクス（ローライト（SCN）、シャッタースピード1/2秒時） 5.5ルクス（P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ブレ補正機能	光学式（ダイナミックモードあり）
動画サイズ	**MXP**/**FXP**： 1920×1080 **XP+**/**SP**/**LP**： 1440×1080
静止画記録サイズ	静止画： **LW**（2304×1296）、**L**（2100×1575）、**M**（1600×1200）、**S**（640×480） 同時記録： **LW**（2304×1296）、**SW**（848×480） あとからフォト：**MW**（1920×1080）

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

映像／音声出力端子（AV OUT端子）	Φ3.5mmステレオミニジャック、1Vp-p／75Ω -10dBv（47kΩ負荷時）／3kΩ以下
USB端子	mini-B、USB2.0 Hi-Speed
コンポーネント出力端子（COMPONENT OUT端子）	Y：1Vp-p、75Ω PB/PR.CB/CR：±350mV、75Ω D3（1080i）/D1（480i）対応、出力のみ、特殊D端子
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクター、出力のみ、CEC対応、**x.v.Color**対応
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック（AV OUT端子兼用）
外部マイク入力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック、-57dBV（600Ωマイク使用時）／5kΩ以上

電源その他

電源電圧	DC7.4V（バッテリーパック）、DC8.4V（DC IN）
消費電力（SPモード、AF合焦時）	約3.6W（液晶画面明るさ標準）
動作温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約70×62×124mm（グリップベルトを含まず）
撮影時総質量	約400g（バッテリーパックBP-809、SDメモリーカード、グリップベルト含む）
本体質量	約340g（グリップベルトを含まず）

水中／水上モードの制限事項

使用不可	ミニビデオライト、フラッシュ、フェイスキャッチ、ハイスピードAF、オートスローシャッター、AF補助光、手動マイクレベル調整、マイクアッテネーター
水中/水上モード専用の設定	ホワイトバランス、画質効果、測光方式
ズームスピード	スピード3に固定
最短撮影距離（ウォータープルーフケースのガラス前面から）	水中で撮影時： ワイド（広角）側　約5cm、テレ（望遠）側　約75cm 空気中で撮影時： ワイド（広角）側　約5cm、テレ（望遠）側　約1m

コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力／消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V）～39VA（240V）
使用温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90mm
本体質量	約135g

バッテリー　BP-809

使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0℃～＋40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	890mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約30.7×27.5×40.2mm
質量	約47g

バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリーBP-809と別売のBP-808/BP-809(B)/BP-809(S)/BP-819/BP-827をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

内蔵メモリーに記録時

録画モード	使用時間	BP-808/809	BP-819	BP-827
MXP	連続撮影時間	1時間35分	3時間15分	4時間55分
	実撮影時間	1時間00分	2時間05分	3時間10分
	再生時間	2時間35分	5時間05分	7時間55分
FXP	連続撮影時間	1時間35分	3時間15分	4時間55分
	実撮影時間	1時間00分	2時間10分	3時間15分
	再生時間	2時間35分	5時間10分	8時間00分
XP+	連続撮影時間	1時間40分	3時間20分	5時間05分
	実撮影時間	1時間05分	2時間10分	3時間20分
	再生時間	2時間40分	5時間20分	8時間15分
SP	連続撮影時間	1時間40分	3時間25分	5時間05分
	実撮影時間	1時間05分	2時間10分	3時間20分
	再生時間	2時間40分	5時間20分	8時間15分
LP	連続撮影時間	1時間40分	3時間25分	5時間05分
	実撮影時間	1時間05分	2時間10分	3時間20分
	再生時間	2時間40分	5時間20分	8時間15分

メモリーカードに記録時

録画モード	使用時間	BP-808/809	BP-819	BP-827
MXP	連続撮影時間	1時間35分	3時間10分	4時間50分
	実撮影時間	1時間00分	2時間05分	3時間10分
	再生時間	2時間30分	5時間00分	7時間40分
FXP	連続撮影時間	1時間35分	3時間10分	4時間55分
	実撮影時間	1時間00分	2時間10分	3時間10分
	再生時間	2時間35分	5時間05分	7時間55分
XP+	連続撮影時間	1時間40分	3時間20分	5時間05分
	実撮影時間	1時間05分	2時間10分	3時間15分
	再生時間	2時間35分	5時間15分	8時間05分
SP	連続撮影時間	1時間40分	3時間20分	5時間05分
	実撮影時間	1時間05分	2時間10分	3時間20分
	再生時間	2時間40分	5時間15分	8時間05分
LP	連続撮影時間	1時間40分	3時間20分	5時間05分
	実撮影時間	1時間05分	2時間10分	3時間20分
	再生時間	2時間40分	5時間15分	8時間05分

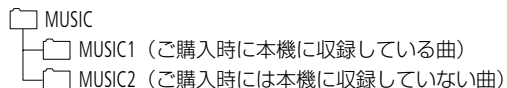
* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

音楽ファイルについて

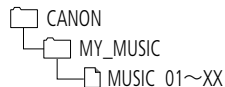
本機でビデオスナップなどに使う音楽は以下の形式です。
サンプリング周波数：48kHz
音声形式：リニアPCM
量子化ビット数：16bit
チャンネル数：2
再生時間：1秒以上
データ形式：WAV
音楽データディスクには、ご購入時に本機に入っている以外の曲も収録されています。入れ換えたり、追加して楽しむことができます。

```
MUSIC
 ├ MUSIC1（ご購入時に本機に収録している曲）
 └ MUSIC2（ご購入時には本機に収録していない曲）
```

音楽ファイルはパソコンで見ると、以下のように保存されます。

内蔵メモリーのとき

```
CANON
 └ MY_MUSIC
    └ MUSIC_01～XX
```

SDメモリーカードのとき

```
CANON
 └ PRIVATE
    └ MY_MUSIC
       └ MUSIC_01～XX
```

Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素（走査線）数1080画素（本）のHD（High Definition）映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

iVIS HF21 は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
iVIS HF21 は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

さくいん

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

商標について

- SDHCロゴは商標です。
- SDロゴは商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- 「x.v.Color」および「x.v.Color」ロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

補修用性能部品について

- ビデオカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後8年です。従って、期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましては弊社またはお買い上げ店にお問い合わせください。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 修理によっては、内蔵メモリーの初期化・交換をすることがあり、その場合、記録データはすべて消去されます。修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、不具合症状の再現･確認のために、必要最小限の範囲でメモリー内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製･保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

平日・土曜日 9:00〜18:00

日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、043-211-9394をご利用ください。

- 購入年月日、型名「iVIS HF21」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。

サービスセンター

札幌	〒060-0807	北海道札幌市北区北7条西1-1-2 SE山京ビル1F
仙台	〒980-0803	宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルヂング1F
銀座	〒104-0061	東京都中央区銀座3-9-7 トレランス銀座ビルディング2F
新宿	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F
横浜	〒220-0004	神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI 横浜ビル2F
名古屋	〒460-0003	愛知県名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ1F
大阪中之島	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島6-1-21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル2F
梅田	〒530-0001	大阪府大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビルB1F
広島	〒730-0051	広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビルヂング1F
福岡	〒812-0017	福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノンMJ福岡ビル1F

東日本修理センター

〒261-0023　千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンMJ幕張事業所1F

休業日：銀座、新宿、名古屋、梅田（日曜日、祝祭日）／その他（土･日曜日、祝祭日）

営業時間：銀座 10:00〜19:00／新宿、名古屋、梅田 10:00〜18:00／その他 9:00〜17:30

※ 所在地は変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

製品の使いかたがわからないときは

キヤノン お客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

平日 9:00〜20:00 / 土日祝日* 10:00〜17:00

*1月1日〜1月3日を除く

※上記番号をご利用できない場合は043-211-9394をご利用ください。

PIXELA ImageMixer 3 SE についてのお問い合わせは

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター

0570-02-3500（携帯電話も使えます）

10:00〜18:00（年末年始、祝日を除く）

※PHSをお使いの場合や上記番号をご利用できない場合は06-6633-2990 (FAX 06-6633-2992)をご利用ください。

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

■ デジタルビデオカメラ製品情報
http://canon.jp/ivis

■ キヤノン サポートページ
http://canon.jp/support

■ CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-0324-000

本書の記載内容は2009年6月現在です。製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。